

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		原永修作	所 属	医学部 医学科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.30	教育連絡主任として学生教育に携わる 医師キャリア支援センタースタッフとして研修医のキャリアプラン形成をサポートする		0.20	教育連絡主任としてシラバス作成、CBT、総合試験の問題 研修医のローテーションの管理を行った 臨床指導医セミナーのタスクフォースとして参加	
研究	0.20	鼻炎と喘息の継時的臨床研究		0.15	鼻炎合併喘息の継時的経過観察の研究発表(呼吸器学会総会) 沖縄県における潜在性結核感染症の治療状況	
社会 貢献	0.10	保健所における結核審査会委員 地域の医師会向けの講演会の企画		0.10	毎月2回の結核審査会参加 医師会共催の研修会での講演 地域向け講演会の講師	
管理 運営	0.10	医療機器安全管理委員 病棟医長、感染対策実務者、リスクマネージャーとして病棟マネージメント		0.20	医療機器安全管理委員として毎月1回の委員会参加 病棟医長として病棟の安全管理、感染対策	
診療	0.30	外来および病棟診療に当たる		0.35	病棟における入退院マネージメント 他科からの呼吸器疾患コンサルト対応 週2回の呼吸器専門外来担当	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平田哲生	所 属		医学部附属病院	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.20	学部学生の講義を双方向性に近づける。 臨床実習学生に対するベッドサイドティーチングの充実。		0.10	学生講義、ベッドサイドティーチングともに不十分であった。			
研究	0.20	糞線虫症に関する臨床研究の遂行。 英文誌への論文投稿1編以上行う。 学会での報告発表を1回以上行う。 科研費の獲得。		0.10	臨床研究に関しては十分遂行した。 学会、投稿、研究費の獲得については不十分であった。			
社会 貢献	0.10	学外の研究会への参加・発表を行う。 他施設での講演・講義を行う。		0.05	他施設での講演を2回、研究会での講演も2回行なった。			
管理 運営	0.10	大学病院内、学部内各種委員会の参加		0.50	多数の委員会への参加を行い、特に病院システム運用及び共同指導対策のWGリーダーとして積極的に活動を行った。			
診療	0.40	附属病院における診療活動の充実		0.25	外来診療、内視鏡検査などは不十分であったが、外来化学療法室長としての職務を十分に行った。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		前城達次	所 属	医学部附属病院第一内科	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	特に臨床実習におけるベツトサイドでの教育やadvanced OSCEに向けた講義などを中心に行う。		0.20	拠点病院の業務も増加傾向にあるので、ベツトサイドでの教育の割合は減少しています。しかしOSCE関連の講義や腹部エコーレクチャーなどは実施している。自己評価は70点。	
研究	0.30	沖縄県の肝疾患拠点病院としての活動及び沖縄県クラスター事業で行う肝線維化研究に関して行う。		0.30	拠点病院としての各地域での情報収集や医療情報提供などが多く、時間がかかった。線維化研究に関してもある程度はまとまったデータが得られたので、今後論文化を目指す。自己評価としては90点	
社会貢献	0.10	沖縄県の肝炎対策協議会委員及び沖縄県難病指定委員会委員として活動する		0.10	沖縄県における肝炎対策協議会、適正飲酒に関する委員会、難病認定委員会にて拠点病院の専門医として発言し、沖縄県の施策に寄与した。自己評価としては90点	
診療	0.40	肝臓専門医としての外来診療業務		0.40	拠点病院に常勤する肝臓専門医としての診療。自己評価は90点	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		宮城一也	所 属	医学部附属病院	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟実習において、活発に意見を述べるができる環境を作る ●可能な限り実技を見学させ、その方法や意義の理解を深める方法を構築する ●講義において学生がより興味を持てるよう常に内容を更新する 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ●病棟実習において積極的に意見を述べるができるようになった。患者さんとも積極的にコミュニケーションをとる学生が多かった。 ●手技に関しても可能な限り研修医に指導し、実施させた。 ●CDを用いて一緒に呼吸音を聞きながら講義も行った 	
研究	0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●学会で発表を積極的に行う。 ●発表したものに関して学会誌へ投稿する。 ●常に基礎研究と臨床の接点を模索する 		0.25	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に学会発表を行った。また研修医にも指導し学会発表を経験させた ●英文のケースレポートを作成中であり次年度に投稿予定である 	
社会貢献	0.05	<ul style="list-style-type: none"> ●学外の研究会に積極的に参加し、機会があれば市民公開講座などにも協力する 		0.05	<ul style="list-style-type: none"> ●学外の研究会に参加したが、数は少なかった 	
管理運営	0.05	学内の運営委員会へ出席し、必要であれば積極的に意見を述べる。		0.00	●管理運営には関われなかった	
診療	0.35	<ul style="list-style-type: none"> ●外来診療において可能な限り患者さんを待たすことのないようこころがけ、また診療の質も落とさないよう留意する。逆紹介も積極的に行う。 ●他院からの紹介に対し適切な検査、治療を行うことでさらに連携を深めていく ●病棟診療においてエビデンスに基づいた診療を行うことはもちろんのこと、常に患者様の 不安を取り除けるよう気を配る。 		0.40	<ul style="list-style-type: none"> ●積極的に逆紹介を行うことで患者の数が減り、待ち時間減少、診療の質の向上を図れた。 ●病棟でも研修医を指導しながらより質の高い医療の提供を心掛け、実際に実践することができた。 	
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		池間 朋己	所 属		医学部附属病院 第二内科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.10	系統講義、試験問題(系統講義・卒業試験、総合試験)作成、OSCE(BPE)評価者を行う。			0.10	内分泌系(1コマ)、代謝系(2コマ)、症候とその評価法(1コマ)、試験問題(系統講義・卒業試験、総合試験)作成、OSCE(頭頸部ステーション責任者)・BPE行った。医学部2次試験(前期)の試験監督をした。		
研究	0.15	論文を作成する。			0.10	沖縄県における小児1型糖尿病療養指導課題抽出と解決にむけた疫学的研究の準備を進めている。		
社会 貢献	0.05	小児糖尿病サマーキャンプの運営への参加			0.05	小児糖尿病サマーキャンプの運営に参加し、キャンプに2日間参加した。		
管理 運営	0.20	教室所属医師の管理、院内会議への出席			0.15	医局員の管理(人間関係、勤務調整)を行った、院内会議(診療情報センター運営委員会、集中医療部運営協議会)出席、レセプト担当医を行っている。		
診療	0.50	外来・病棟診療。後輩医師への診療教育			0.60	週2回の外来診療、他科病棟の血糖コントロール、後輩医師への診療教育をお行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		中山良朗	所 属	第二内科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	学生、初期研修医を対象としたレクチャーを行う。新入局員、若手医師に楽しく仕事をしている姿をみせる。		0.10	日々のカルテ診やカンファレンスを通して、学問の楽しさを伝えたつもりです。	
研究	0.40	研究活動により真剣に情熱を持って取り組む。一定のメドを立てる。		0.40	基礎研究は少し行詰まっているが、臨床研究のサポートにも取り組み今後 に生かせると思った。	
社会 貢献	0.05	県医師会や学会における発表や、糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組む。		0.05	学会発表は定期的に行えている。	
管理 運営	0.05	院内・学内の各種委員会における職責を全うする。		0.05	各種委員会、外来医長として頑張った。	
診療	0.30	外来患者を中心に常に謙虚に励む。一例一例を丁寧に診る。		0.40	外来診療を中心に謙虚にアグレッシブに取り組めたと思う。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲村英昭	所 属		医学部附属病院 第二内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.15	学生対象の講義、初期研修医対象のレクチャーを行う。今年度は「肥満症」をテーマとした学生対象の講義を新たに担当する予定である。			0.15	講義・レクチャーを予定のとおり実施できた。		
研究	0.15	現在進行中である、生活習慣病を予防・改善する沖縄県高機能米開発(難消化米プロジェクト)の遂行、および論文作成に取り組む。			0.10	症例の蓄積はできたが論文完成に至っていない。		
社会貢献	0.15	学会発表、症例報告論文の作成、および糖尿病サマーキャンプにおける活動に取り組む。			0.10	症例の蓄積はできたが論文完成に至っていない。		
管理運営	0.15	院内・学内の各種委員会における職責を全うする。主には病棟医長(9階西病棟)としての職務を行う予定である。			0.25	第二内科としての病棟運営の収支を改善し、病棟医長としての職責に十分取り組むことができたと考えている。		
診療	0.40	入院患者診療、および外来(週1回)の診療に取り組む。			0.40	入院患者診療、および外来(週1回)の診療に、想定した通りに取り組むことができた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		難波 豊隆	所 属		医学部 医学科 第二内科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.05	学生講義およびポリクリ学生の指導、初期研修医の進路相談を行う。		0.10	学生講義およびポリクリ学生の指導、初期研修医の進路相談を行った。			
研究	0.30	大学院で研究を行う。		0.20	大学院で研究に必要な手技獲得を行った。			
社会貢献	0.10	小児糖尿病サマーキャンプを運営する。		0.10	小児糖尿病サマーキャンプを運営した。			
管理運営	0.05	リスクマネージャーを担当する。		0.05	第二内科のリスクマネージャーを担当した。			
診療	0.50	外来および病棟業務を行う。		0.55	外来および病棟で診療業務を行った。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		崎間洋邦	所 属	第三内科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	①M3講義(脳血管障害), ②M5, M6のベッドサイドでの神経診察指導(脳血管障害症例中心)		0.20	①M3講義(脳血管障害, 脳神経超音波検査)担当を行った。 ②M5, M6の神経診察指導をベッドサイドで朝夕回診時に行った。 ③平成27年度より医師キャリア支援センターのスタッフとなり, 研修医指導に関わった。	
研究	0.30	①後期研修医および医員の論文, 症例報告作成支援, ②おきなわ脳卒中地域連携事業のデータ解析, 公表, ③臨床研究を行い学会発表・論文作成を進める。		0.20	①後期研修医および医員に計4回, 学会での症例発表指導を行った。和文1編, 症例報告を作成し受理掲載された。 ②おきなわ脳卒中地域連携事業のデータ解析結果を県医学会で報告した。 ③脳卒中連携パス解析データの論文化を行い, 沖縄県医学会誌に受理され, 掲載された。	
社会 貢献	0.20	①おきなわ脳卒中地域連携事業の推進, ②臨床研究から得られた知見を広めていく。		0.20	①おきなわ脳卒中地域連携事業で県内の現状を報告し, 急性期と回復期機関の, 維持期医療機関との連携を充実させていく必要がある事を確認した。 ②学会総会や研究会, 総説作成などで得られた知見を発表した。英文学術誌の査読も3件行った。	
管理・ 診療	0.10	①朝夕の病棟神経グループ入院症例の回診, ②外来診療業務, 神経グループコンサルト(救急含む)対応, ③感染対策実務者会議参加		0.30	①朝夕の病棟回診を滞りなく行った。 ②外来診療業務を滞りなく行った。コンサルト対応は若手医師とともに対応した。 ③感染対策実務者会議に出席し, 得られた情報を医局員に周知した。 ④7月から病棟医長を務め, リスクマネージャー会議等に参加し, 得られた情報を医局員に周知した。	
進路 指導	0.10	①医員の日本内科学会認定医取得支援・指導, ②医員の神経学会神経内科専門医の取得支援・指導, ③医員の日本脳卒中学会専門医取得支援・指導		0.10	①②③後期研修医, 医員の内科学会認定医, 神経内科専門医取得支援・指導を行い, 次年度5名受験予定である。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		狩俣 弘幸	所 属		消化器・腫瘍外科学講座	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	医学部医学科の学生に対して:画像を取り入れた視覚に訴える講義を行う。講義の理解にカギとなる図表などは学生に配布する。臨床実習でローテートしてくる学生に授業・実習の履修状況を聴取し、適切な指導を行う。卒後の進路について、学生自ら進路決定を適切に判断できるように助言を行う。			0.15	医学部医学科の学生に画像を取り入れた講義を行った。図表など講義内容をは学生に配布した。シミュレーション器材を利用して外科手技実習を指導した。		
研究	0.15	他の教員と共同で、消化器外科学領域の研究成果を学会などで発表する。1編以上の論文を執筆し、発表する。			0.10	5学会で発表を行った。		
社会貢献	0.10	医療行政に関連する行事に参加し、自らの専門知識によって地域医療に貢献する。			0.15	市民公開講座に参加したり、新外科専門医制度のプログラム策定・連携を行った。		
管理運営	0.20	医学部、医学部付属病院の各種委員会に参加して管理運営に貢献する。			0.30	病院の各種委員会に参加、管理運営を行った。今年度は個別指導などもあり、例年よりも多く委員会への参加・活動を行った。		
診療	0.35	外来診療、入院患者の病棟管理、手術を行う。			0.30	外来診療、入院患者の病棟管理、手術を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		国仲 弘一	所 属		附属病院第一外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.05	研修医への講義・実技指導。医学部学生、大学院生への講義。病棟 実習生への指導・講義。		0.05	目標を達成できた。			
研究	0.10	乳がん、甲状腺疾患に関する研究。学会発表及び研究発表。		0.10	目標を達成できた。			
社会 貢献	0.05	地域での講演活動や研究会、患者会への出席。		0.05	目標を達成できた。			
管理 運営	0.05	病院運営に関する各種会議への参加。		0.05	目標を達成できた。			
診療	0.75	乳がん、甲状腺疾患の診療。		0.75	目標を達成できた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊禮 靖苗	所 属		医学部 医学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	①医学部の学生に対して、講義を担当する。②5-6年生の臨床実習においてベッドサイドおよびレクチャーでの教育指導を行う。抄読会およびレポート作成の指導を行う。③研修医に対し、チューターとして仕事に関する日頃の悩みや、将来の進路の相談役となるよう努める。			0.25	研修医に対するチューターとして、日頃の悩みや将来の進路の相談役としては、ローテートした全員には施行できなかったが、スキルレクチャーは施行した。		
研究	0.25	①主に消化器外科についての臨床研究成果をまとめ全国、地方で学会発表する。②論文を執筆する。			0.25	論文は1編作成し、またさらに現在作成中である。		
社会貢献	0.10	①地域の病院で総合内科および外科処置、消化器外科に関する技術を用いて地域医療に貢献する。②所属する学会で積極的に発表、講演会に参加し、外科学の進歩に貢献する。			0.10	目標は達成されている。		
管理運営	0.10	医学部附属病院の各種委員会に参加し、管理運営に貢献する。			0.10	12月以降は代理では有るが、委員会に出席し、また議題、周知事項の報告に努めている。		
診療	0.30	医学部附属病院で消化器外科における手術、検査、外来、病棟管理に従事する。中でも患者さん、家族によりわかりやすい説明を行うよう努める。			0.30	目標は達成されている。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	金城達也		所 属	消化器・腫瘍外科学講座	
	職 名	助教			
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	医学部医学科の学生に対して:画像を取り入れた視覚に訴える講義を行う。シミュレーション器材を利用した外科手技実習を行う。 初期研修医に対して:基本的な外科知識・手技の獲得の指導を行う	0.20	達成できた	
研究	0.25	他の教員と共同で、消化器外科学領域の研究成果を学会などで発表する。1編以上の論文を執筆し、発表する。医局員の専門医取得に関連する論文執筆指導を行う。獲得した競争的研究資金をもとに継続的な臨床研究を行う。	0.25	英語論文については1編を投稿中の状態である。その他は達成できた。	
社会 貢献	0.05	医療行政に関連する行事に参加し、自らの専門知識によって地域医療に貢献する。	0.00	達成できなかった	
管理 運営	0.10	医学部、医学部付属病院の各種委員会に参加して管理運営に貢献する。	0.10	達成できた	
進路 指導	0.10	臨床実習でローテートしてくる学生に授業・実習の履修状況を聴取し、適切な指導を行う。卒後の進路について学生自ら進路決定を適切に判断出来るように助言をおこなう	0.10	達成できた	
診療	0.30	患者さまの診療について、特に消化器外科学会について、学会、研究会などを通じて最新の情報の獲得、手術技術の研鑽を継続的にを行い、各診療科、各部門と連携しながら最適な診療の提供につとめる。	0.35	達成できた	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		稲福 斉	所 属	第二外科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	1. 学生に対する講義(M2, M3, M5); 心臓・大血管の奇形。重症心不全の外科治療、補助人工心臓治療。2. 臨床実習学生に対する臨床実習指導(心臓手術における術前、術後管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成)。各グループへのミニ講義を行う。		0.20	1. 心不全に対する外科治療(M3)、臨床奇形学(心臓・大血管の奇形)(M2)、補助人工心臓治療(M5)の講義を行った。総合試験問題、追試問題作成(M5)を行った。2. 臨床実習学生に対する指導(心臓手術の術前術後管理、心臓カテーテル検査方法、レポート作成)を行った。	
研究	0.20	1. 臨床研究: ① 高齢大動脈弁疾患に対する自己心膜を用いた大動脈弁形成術に関する研究。② 重症心不全に対する 植え込み型補助人工心臓治療に関する研究。③ Budd-Chiari症候群患者に対する調査研究。2. 各種学術集会への参加、発表。		0.20	1. ①自己心膜による大動脈弁再建術研究会への参加(第46回心臓血管外科学会)、②植え込み型補助人工心臓手術を1例に施行した。③Budd-Chiari症候群の手術津を1例担当した。2: 第115回 日本外科学会および第16回 European Venous ForumにてBudd-Chiari症候群における研究発表を行った、第68回日本胸部外科学会定期学術集会、第53回日本人工臓器学会大会にて植え込み型補助人工心臓における研究発表を行った。その他第29回日本冠疾患学会学術集会、第46回 日本心臓血管外科学会学術総会で発表した。	
社会貢献	0.10	心臓移植を目指した植え込み型補助人工心臓治療を社会的に認知されるよう啓蒙活動を行う(研究会開催、医療施設へ出向いて講演を行う)。		0.10	牧港中央病院へ1回、浦添総合病院へ1回、県立中部病院へ2回訪問し、重症心不全患者を診察し、患者および家族へ心臓移植を目指した植え込み型補助人工心臓治療説明を行った。実際に1人の重症心不全患者を受け入れ、植え込み型補助人工心臓手術を行った。	
管理運営	0.10	1. 医療機器安全委員会への参加、2. 心臓移植適応委員会、植え込み型補助人工心臓適応委員会への資料作成協力。		0.10	1. 月1回開催される医療機器安全委員会へ参加した。2. 第6回 心臓移植適応委員会、植え込み型補助人工心臓適応委員会への資料作成協力を行った。	
診療	0.40	1. 心臓血管外科疾患領域患者への外来診療、2. 心臓血管外科疾患への手術、周術期管理		0.40	1. 週1回の外来診療を継続した。2. 執刀医として33例の心臓血管外科手術を行い、周術期管理を行った。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

各教員は、本シートに年度目標等を記入し、4月13日(月)までに評価者へ送付	⇒	評価者は、必要に応じ、4月17日(金)までに当該教員と年度目標、ウェイト比を調整。必要に応じ、4月24日(金)までに三者間(評価者、当該教員、部局等の長)で調整	⇒	評価者は、本シートを4月24日(金)までに部局長等へ送付	⇒	事務局は、シートを取りまとめ4月30日(木)までに経営戦略課へ提出	⇒	各教員は、「年度末自己点検結果」を記入し、28年2月1日(月)までに評価者へ送付
---------------------------------------	---	--	---	------------------------------	---	-----------------------------------	---	--

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)								
名 前	永野 貴昭		所 属	第二外科		職 名	助教	
領域	業務ウェイト比(予定)	平成27年度 年度目標設定	業務ウェイト比(実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・学生支援	0.20	1) 担当学生に外来診察見学・手術参加等を積極的に実施してもらい、臨床現場を体感させる。 2) 1)の臨床現場に加えて、担当学生への講義の際に、胸部心臓血管外科領域への興味を持てる魅力ある内容を心がける。 3) 医師国家試験成績改善へ向けての対応も引き続き充実させる。	0.20	1) ペットサイドレクチャー(外来・病棟)に関しては、ステントグラフト(説明用)を実際にデモンストレーション形式にて行い、手術術式への理解を深めることができた。手術中にも、実際の術中画像・使用デバイスを使用し、説明を行った。学生間で互いの知識交換を図るよう工夫した。 2) 学生講義の際に、現状の手術治療に関する最新のデータを提供することはできた。新しく改訂されたガイドラインをもとに試験問題を作成し、国家試験への対応とした。				
研究	0.10	1) 急性大動脈解離症例に対する、企業型ステントグラフト開窓使用の臨床研究(術中開窓) 2) 急性大動脈解離に対する胸部ステントグラフト治療用デバイスの日本導入(本年度認可予定)に向けての使用成績調査への参加	0.10	1) 国内学会で共催された、海外医師との研究会の中で、企業型ステントグラフト開窓使用の有用性に関して報告した。 2) 急性大動脈解離に対する胸部ステントグラフト治療用デバイスの使用成績調査への参加し、経過報告中である。				
社会貢献	0.10	大動脈ステントグラフト内挿術の最新情報および経カテーテル大動脈弁置換術に関する公開講座・研究会等を積極的に行う。	0.10	県民公開講座および学会にて血管内治療および経カテーテル大動脈弁置換術に関する最新情報を提供した。				
管理運営	0.20	1) 病棟医長として、当該診療科の更なる平均在院日数改善を図る。 2) 新患者数改善に向けて、近隣施設および県内中核病院への働きかけを行う。 3) PET有効活用に関して、引き続き働きかける。	0.20	1) 平均在院日数改善に貢献できた。 2) 急患受け入れ等の改善を図りつつ、近隣施設への情報提供を行い、新患者数増加に貢献できた。 3) PET有効活用において、診療科スタッフへの周知を行い、検査実施に寄与できた。				
診療	0.40	1) 経カテーテル大動脈弁置換術の導入を安全に行う。 2) 血管内治療・手術件数増加へ向けての活動、および最新技術の導入を行う。	0.40	1) 本年度経カテーテル大動脈弁置換術の導入し、計6例安全に手技完結した。 2) モデルチェンジした腹部大動脈ステントグラフト(AFX)を日本で最初に導入し計7例安全に手術完結した。				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00					
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		照屋孝夫	所 属		医学部附属病院 第2外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	M5/M6/研修医に対し、症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導する。研修医には医療行為を経験させることで実地医療を指導し、学生にはレポート作成を行ってもらうことで教育的指導を行う。医局のチューターとして指導する。後期臨床研修進路説明会で医局の紹介を行う。親身になり、個々に応じた助言をする。楽な方ではなく、やりがいのある方へ。			0.20	症例をとおして呼吸器外科領域の診療を指導しているが、十分な時間をかけられているか疑問である。M4/M5/M6/研修医に対しミニ講義を行っている。M3に臨床講義を行った。医局長として、医局員・研修医・学生に助言した。		
研究	0.10	呼吸器外科に関する臨床症例検討を行い、全国学会での発表(2回/年)、論文作成(1編/年)を目標とする。			0.10	日本呼吸器外科学会/肺癌学会/臨床外科学会総会、日本胸部外科学会地方会、沖縄県医師会総会/外科会での発表を指導した。論文作成を指導している。		
社会 貢献	0.10	県の呼吸器がん検診・登録事業の協議会に参加しており肺癌等の早期発見を目指す。次世代の呼吸器外科医を育成していくこと。沖縄県がん地域連携クリティカルパスの普及に努める。			0.10	沖縄県がん地域連携クリティカルパス肺がん部門での統括にあたった。沖縄県呼吸器のがん検診分科会への参画。院内がん登録委員会への参画。		
管理 運営	0.10	手術件数を前年度よりも増やす。OSCEの指導、審査。救急部運営協議会・材料部運営協議会・医薬品安全管理専門委員会・保険診療・DPC委員会・がん登録連絡委員会の委員。医師キャリアセンターのスタッフ。入試試験の救護班			0.10	紹介元への返書を徹底した。各委員会への参画。大学入試センター試験の救急担当医師。		
診療	0.50	患者さんに最良の治療(診断のための検査/治療方針の決定/手術)を提供できるよう最善をつくる。			0.50	呼吸器カンファレンス等に積極的に参加し、個々の症例に対し最良の治療を提供するよう努めた。全国学会・セミナーに参加し最新の知見を得るよう努めた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		渡邊 孝	所 属		医学部 脳神経外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャー、チュートリアルを通じて、脳神経外科領域における基礎的で実践に役立つ知識の習得を目指して教育を実践する。また、脳神経外科を志望する学生に対して、進路指導を行う。		0.10	脳神経外科学講義、救急医療系講義、研修医レクチャー、チュートリアルを通じて、脳神経外科領域における基礎的で実践に役立つ知識の習得を目指して教育を実践した。また、脳神経外科を志望する学生に対して、進路指導を行った。			
研究	0.20	現在進行中の研究テーマ 1) 髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現、サブユニットの構成様式と病理学的所見、臨床的所見との関連について解析し、研究結果を発表。2) 安全で確実性の高い術中神経モニタリング法の開発。3) 神経内視鏡手術の発展に向けた手術機器の開発、4) 神経膠芽腫の新たな治療方法の確立について研究を進める。		0.20	現在進行中の研究テーマ 1) 髄膜腫におけるグルタミン酸受容体の発現、サブユニットの構成様式と病理学的所見、臨床的所見との関連について解析を行い、論文を準備中である。2) 安全で確実性の高い術中神経モニタリング法の開発中。3) 神経内視鏡手術の発展に向けた手術機器の開発中、4) 神経膠芽腫の新たな治療方法の確立について研究を計画通り推進した。			
社会貢献	0.10	脳神経外科医を目指す研修医、学生に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催する。		0.10	脳神経外科医を目指す研修医、学生に対して、脳神経外科手術における基本手技の習得を目的とした手術手技習得コースを開催した。また、実際の臨床の現場で指導した。			
管理運営	0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行う。救急部運営委員、手術部運営委員として、救急部及び手術部の運営に関与する。輸血療法委員として、血液製剤の適正利用に向けた活動を行う。卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動する。		0.10	リスクマネージャーとして、病棟の安全対策、危機管理運営を行った。救急部運営委員、手術部運営委員として、救急部及び手術部の運営に関与した。輸血療法委員として、血液製剤の適正利用に向けた活動を行い、卒後研修センターでは、有意義な初期研修が行われるよう活動した。			
臨床業務	0.50	安全で確実な治療を行うことを第一目標とする。脳腫瘍の治療全般及び神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術を実践し、治療成績向上を目指す。		0.50	安全で確実な治療を実践した。脳腫瘍の治療全般及び神経内視鏡を用いた経蝶形骨洞手術、頭蓋底手術を実践し、治療成績を向上させた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		菅原 健一	所 属		医学部附属病院 脳神経外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.10	学生、大学院生、研修医の教育指導を行う。要点がわかりやすく、受講者の興味関心を引く講義を心掛ける。		0.10	臨床実習生(ポリクリ、クリクラ)の外来実習、病棟実習、手術実習の指導を行った。医学部3年生に対し神経医学系講義を行った。初期臨床研修医および大学院生の指導を行った。			
研究	0.25	悪性脳腫瘍に関する臨床的および基礎的な研究を行い、学会での報告発表、学会誌への発表を行う。多施設共同臨床試験に積極的に参加する。		0.25	脳腫瘍について臨床的な研究を行った。悪性神経膠腫に関し、第15回 日本術中画像情報学会、第167回琉球医学会例会、一般社団法人・日本脳神経外科学会第74回学術総会にて発表を行った。			
社会貢献	0.05	関連病院における診療を通じて地域医療へ貢献する。		0.05	関連病院において外来診療を行い、地域医療に貢献した。			
管理運営	0.10	各委員会の委員として積極的に病院および医学部の運営に貢献する。		0.10	医療材料検討委員会委員、緩和ケアセンター連絡会議委員、クリニカルパス実施推進委員会委員、教育連絡主任として病院および医学部の運営に貢献した。			
診療	0.50	昨年に引き続き医療安全を推進し、患者中心の診療を行う。PETやMRIなどの画像診断装置、ナビゲーションシステム・術中MRI・神経機能モニタリングなどマルチモダリティを駆使した高度な脳腫瘍手術、先進医療を実践する。		0.50	医療安全の推進、患者中心の診療を実践した。術者として27例、助手として35例の手術を担当し、PETやMRIなどの画像診断装置、ナビゲーションシステム・術中MRI・神経機能モニタリングなどマルチモダリティを駆使した高度かつ安全な脳腫瘍手術を提供した。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		宮城 智央	所 属		医学部付属病院 脳神経外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.05	医学科4年生へ担当の講義(救急医療系:意識障害)が予定されている。2週間毎に臨床実習を受ける医学科5年生に担当範囲のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験や臨床実習についても継続して助言や指導を行っていく。1年間を通して臨床実習する医学生5年生と6年生に対して、脳神経外科外来実習のオリエンテーションとプレゼンテーション、問診・診察・カルテ記載を指導していく。初期研修医・後期研修医への指導・助言を行っていく。			0.05	医学科4年生へ担当の講義(救急医療系:意識障害)を行った。2週間毎に臨床実習を受ける医学科5年生に担当範囲のレクチャーを継続して行い、また、医師国家試験や臨床実習についても継続して助言や指導を行った。臨床実習する医学生5年生と6年生に対して、脳神経外科外来実習のオリエンテーションとプレゼンテーション、問診・診察・カルテ記載を指導した。初期研修医・後期研修医への指導・助言を行った。		
研究	0.10	CTやMRIの術前画像分析などの研究を継続し、これまで同様に県内外での学会発表を継続していく。			0.10	以下の学会発表をした。第74回日本脳神経外科学会学術総会:「3次元CGと3Dプリント支援による脳神経外科」。その他、3学会で発表した。術前シミュレーション3Dや3Dプリンターによる術前シミュレーションの研究をより深化させた。術前シミュレーション3Dの方法について同僚へ技術提供した。		
社会 貢献	0.05	市民への健康講座に関する要請があれば、積極的に参加・支援していく。			0.05	日本シミュレーション外科学会においてシンポジストとして学術的發展に貢献した。日本脳神経外科学会の第14回PNLS(Primary Neurosurgical Life Support)ワークショップにてインストラクターとして社会貢献した。		
管理 運営	0.10	脳神経外科外来にて外来医長としての職務を務めていく。感染対策実務者会議などの委員活動をこれまで同様に継続していく。その他、各種会議について代理出席にて補助していく。			0.10	脳神経外科外来にて外来医長としての職務を務めた。感染対策実務者会議などの委員活動をこれまで同様に継続した。がん登録、院外委託検査委員として主席や代理出席での対応を行った。		
診療	0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を怠りなく、より安全で確実に継続して行っていく。外来医長として外来患者に関する医療改善を継続して努めていく。			0.70	日々の入院、手術、外来、当直、救急の業務を安全に行い、医療過誤や訴訟なく業務をなした。外来医長として新患患者の増加・対応に努力した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		城間綾乃	所 属		医学部付属病院脳神経外科	職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.30	脳外科臨床実習における神経心理学的アセスメントの実施、所見作成に対する指導		0.20	脳外科臨床実習における神経心理学的アセスメントの実施、所見作成において教育学部実習生へのアドバイス、指導を行った。			
研究	0.50	①小脳損傷患者の神経心理学的評価と小脳半球圧迫が海馬機能に及ぼす影響、②悪性脳腫瘍患者の放射線療法中の認知機能の変化、③脳腫瘍患者の主観的QOLの様相に関して、症例の蓄積、解析を行う。		0.50	①は研究成果を論文としてまとめた。②は、データを収集・分析を行った。			
社会貢献	0.15	小脳と認知機能に関する研究成果の学会発表、論文作成をもって社会貢献とする		0.25	小脳と認知機能に関する研究成果を論文としてまとめ「Cerebellum」に投稿、受理された。			
管理運営	0.05	臨床業務に必要な心理検査・心理検査道具の管理や補充を行う。		0.05	臨床業務に必要な記憶検査、気分評価の質問紙など、心理検査道具の管理と補充を行い、検査業務の円滑化に努めた。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		大城義竹	所 属		琉球大学医学部附属病院整形外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.20	ポリクリや臨床講義などに力を入れていきたい		0.20	ポリクリや臨床講義を十分に達成できた			
研究	0.20	臨床研究では本年度1回の学会発表、論文作成が目標		0.20	個人での学会発表はできなかったが、共同演者としての協力はできた。			
社会貢献	0.20	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい		0.20	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい			
管理運営	0.20	当医局の医局運営や助教として病院全体の管理運営に役に立てるようになりたい		0.20	当医局の医局運営や助教として病院全体の管理運営に関わることができた			
診療	0.20	臨床の仕事を通じて社会貢献を継続したい		0.20	手術、外来を例年通り行えた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲宗根 哲	所 属	医学部附属病院	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	1. 研究活動の授業への反映(股関節疾患を視覚化が容易な3次元モデルを用いて行う) 2. 手術患者の割り当てによる疾患に対する教育 3. 外来診療における診察法の教育		0.30	3次元表面モデルを用いた手術シミュレーションを授業に用いた。学生への股関節疾患に対して丁寧に指導した。外来診療では、股関節疾患の診察法、鑑別について教育した。	
研究	0.30	1. 特発性大腿骨頭壊死症調査研究(厚労科研 難治性疾患等政策研究事業) (共同研究) 2. 学会誌への投稿、発表 3. 学会での報告発表		0.05	倫理委員会承認後に調査研究を開始した。共同演者として日本股関節学会誌へ投稿した。	
社会貢献	0.05	骨折予防・骨粗鬆症対策などの市民公開講座		0.00	今回は、その機会がなかった。	
管理運営	0.05	地域連携運営委員会、クリティパス委員会など		0.05	クリティパスを作成し、委員会に参加した。	
診療	0.40	外来・手術・入院管理業務		0.60	股関節疾患、外傷性疾患を対象に治療を行った。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山崎俊	所 属		医学部附属病院 形成外科	職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.05	形成外科に初期研修医が研修する予定は現時点でない。 他科同時手術の際などに縫合方法などの指導を行う。			0.10	複数人の医学生に対する指導を行った。		
研究	0.30	平成28年度の科研費、若手研究A、またはBの取得を目指す。			0.10	科研費の応募を行った。		
社会貢献	0.05	研究会や患者向けの勉強会を行う。			0.00	インターネットを通じて疾患への理解を深めた。		
管理運営	0.10	クリニカルパス実施推進委員会、手術部運営委員会			0.10	各種委員会に参加した。		
診療	0.50	手術件数の増加、入院患者数の増加を目指す。			0.70	手術件数、入院患者とも充分であったと考える。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		久高 亘	所 属	医学部附属病院 産科婦人科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・医科学学生臨床実習指導を充実させる。実習を通して医学・医療に関する理解を深めさせる。 ・当科診療マニュアルによる医局員教育の実施 ・医学研究科大学院生1人の研究指導 		0.10	医科学学生に対し実地臨床を通して医学・医療への理解を深めさせ、臨床系統講義により婦人科学の理解を深めさせた。また当科診療マニュアル、産科婦人科関連学会発行の各種診療ガイドライン等を活用して医局員教育を行った。医学研究科大学院生の研究指導については十分ではなかった。	
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人科腫瘍関連の各臨床研究(NRG, JGOG, JCOG)に参加する。国内・外の婦人科腫瘍関連各学会への出席、演題発表を行う。 		0.20	婦人科腫瘍関連の各臨床研究グループ(NRG, JGOG, JCOG)に参加、症例登録を通して研究に貢献した。第57回日本婦人科腫瘍学会学術講演会に参加、演題発表を行った。	
社会貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄産科婦人科学会での学会・研修会企画運営 		0.10	沖縄産科婦人科学会での学術集会、研修会の企画運営に貢献した。沖縄産科婦人科学会、沖縄産婦人科医会主催の「子宮頸がんから女性を守る市民公開講座」で講演を行い、子宮頸がん予防の啓発を行った。	
管理運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・医局長として、医局運営に貢献する。 ・外来化学療法連絡会議副委員長として、外来化学療法の管理・推進に貢献する。 ・機能画像診断センター経営管理委員会、がんセンター委員会、保険診療・DPC委員会、クリニカルパス実施推進委員会の各委員として貢献する。 		0.20	産科婦人科医局長として医局運営に貢献した。外来化学療法室副室長として外来化学療法の管理・推進を行った。その他、機能画像診断センター経営管理委員会、がんセンター委員会、保険診療・DPC委員会、クリニカルパス実施推進委員会の委員として貢献した。	
診療	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・手術件数、外来化学療法数の増加を図る。 ・外来、病棟診療体制の再構築を行う。 		0.40	手術件数、外来化学療法件数ともに前年とほぼ同数を維持した。外来および病棟の診療体制の再構築を行い、効率化を図った。医局員の診療業務の過重負担を軽減した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		玉城 邦人	所 属		医学部 医学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	・医学生への系統講義、実習学生、研修医へのレクチャーと実地的臨床指導を行う。			0.20	系統講義は所定通り実施したが、病棟・外来における学生、研修医への指導は十分とは言えなかった。		
研究	0.20	学会参加、臨床治験への参加を通じて専門診療に関する情報の取得を積極的に行う。			0.10	県内の研究会、学会へは積極的に参加できたが、県外の学会へは参加できなかった。		
社会貢献	0.10	・支援学校や訪問看護と連携し、在宅医療支援に関しての支援活動を行う。			0.20	外来における在宅療養支援のためのケース会議を何度か開催した。		
管理運営	0.10	・副病棟医長としての病棟管理業務、虐待防止委員界への参画を予定。			0.10	所定の業務を実施した。		
診療	0.40	外来および病棟での診療を行うとともに、実際的な診療の手技と考え			0.40	主に外来での診療業務に従事した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		浜田 聡	所 属		育成医学	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.10	定期的に学生を対象とした講義を実施していく。		0.10	定期的な講義を実施することができなかった。			
研究	0.30	科学研究費を獲得する		0.30	倫理委員会承認を得て3つの臨床研究を実施している。			
社会 貢献	0.10	継続してバンクコーディネート業務を行っていく		0.10	定期的な骨髄バンクコーディネートを実施した。			
管理 運営	0.10	リスクマネージャー業務および輸血療法委員で活動していく		0.10	リスクマネージャー業務および輸血療法委員として活動した。			
診療	0.40	病棟及び外来患者のマネージメント		0.40	病棟及び外来患者のマネージメント			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山本 雄一	所 属		医学部	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	医学科学生の臨床系統講義、医学科臨床実習生の指導・教育、看護師の指導・教育、研修医・研究生・医員の指導・教育。学会発表指導、論文指導を行う。			0.25	医学科学生の臨床系統講義、医学科臨床実習生の指導・教育、看護師の指導・教育、研修医・研究生・医員の指導・教育を行った 学会発表指導、論文指導を行った		
研究	0.25	日本皮膚科学会総会への参加、学術論文雑誌への論文投稿			0.25	日本皮膚科学会総会への参加、学術論文雑誌への論文投稿を行った		
社会貢献	0.15	沖縄県他施設での外来診療・手術。離島での診療・手術。市民公開講座の開催、運営。講師として皮膚疾患の知識の啓蒙を行う。			0.15	沖縄県他施設での外来診療・手術。離島での診療・手術。市民公開講座の開催、運営した。講師として皮膚疾患の知識の啓蒙を行った。		
管理運営	0.10	がん部会会議への出席、検討			0.10	がん部会会議への出席、検討した。		
診療	0.25	大学病院での外来・入院・手術診療。術後管理を行う。			0.25	大学病院での外来・入院・手術診療。術後管理を行った。		
計	1.00				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		新嘉喜 長	所 属		医学部 医学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.10	医学部学生への講義。学生、研修医への指導・教育。		0.10	医学部学生への講義。学生、研修医への指導・教育を行った。			
研究	0.10	皮膚科学会、地方会、勉強会での発表、参加。		0.10	皮膚科学会、地方会、勉強会での発表、参加した。			
社会 貢献	0.10	在宅褥瘡セミナーの開催、他施設での診療。		0.10	在宅褥瘡セミナーの開催、他施設での診療、市民公開講座を行った。			
管理 運営	0.10	医局長、褥瘡委員会の運営・管理等を行う。		0.10	医局長、褥瘡委員会の運営・管理、患者サービス推進委員会、医師キャリア支援センター会議等を行った。			
診療	0.60	大学病院での入院、外来診療。		0.60	大学病院での入院、外来診療を行った。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		園崎 哲	所 属		医学部医学科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育 ・ 学生 支援	0.30	医学科学生の臨床系統講義による教育。医学科臨床実習生への病棟での教育。研修医への皮膚科学の教育。			0.30	臨床系統講義による教育を行った。医学科臨床実習生への病棟での教育を行った。研修医への皮膚科学の教育を行った。		
研究	0.10	学会雑誌への投稿。臨床治験参加。			0.10	学会雑誌への投稿を行った。臨床治験に参加した。		
社会 貢献	0.10	市民公開講座の開催協力			0.00	市民公開講座には関与できなかった。		
管理 運営	0.20	委員会委員			0.20	感染対策委員、輸血療法委員会委員を務めた。		
診療	0.30	大学病院における外来診療や入院患者診療。関連施設での外来診療。			0.40	大学病院における外来診療や入院患者診療を行った。関連施設での外来診療を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山城 充士	所 属		医学部付属病院皮膚科
			職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習性、研修医への指導、教育。		0.15	医学部学生への臨床講義。医学科臨床実習性、研修医への指導、教育を行った。
研究	0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会への参加・発表。学会雑誌への論文発表。		0.15	沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。日本皮膚科学会への参加・発表。学会、雑誌への論文発表を行った。
社会 貢献	0.10	各種市民講座の開催、運営、講演。南部病院をはじめとする沖縄県内施設での診療。沖縄県特有の皮膚疾患の診療。		0.10	各種市民講座の開催、運営、講演。南部病院をはじめとする沖縄県内施設での診療。沖縄県特有の皮膚疾患の診療を行った。
管理 運営	0.10	がん部会・レジメン委員会などでの会議・運営及び診療への反映。		0.10	レジメン登録審査管理委員会、救急部運営協議会、放射線部運営協議会などでの会議・運営、および診療への反映を行った。
進路 指導	0.10	医学部学生・研修医への進路指導。		0.10	附属病院における手術、外来診療・入院患者診療を行った。
診療 業務	0.40	附属病院における手術・外来診療・入院患者診療。		0.40	附属病院における手術、外来診療・入院患者診療を行った。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前	我那覇 章		所 属	医学部 医学科 耳鼻咽喉・頭頸部外科	職 名	講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定	業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.10	学生講義、ポリクリ実習を通し、学生教育を行う。	0.10	講義、ポリクリ実習を通じた学生教育を行い得た。		
研究	0.40	科研費(課題番号 25462649)の研究成果を学会誌への投稿する。今後、現在進行中の研究の継続を行う。	0.40	<p>[以下、筆頭著者として論文投稿をおこなった]</p> <p>1. 弛緩部型真珠腫におけるCanal wall up法. 頭頸部外科 25巻2号 Page125-131</p> <p>2. 人工内耳の術前評価に必要な検査. ENTONI(1346-2067)181号 Page10-17</p> <p>[以下、共著者として論文投稿をおこなった]</p> <p>1. 内耳炎を合併した中耳放線菌症の治療経験. 日本耳鼻咽喉科感染症・エアロゾル学会会誌(2188-0077)3巻2号 Page70-75</p> <p>2. 小児人工内耳術後コミュニケーションモードに影響を与える要因の検討. 日本聴覚医学界 Vol.59 No.4(掲載予定)</p> <p>[継続研究として]</p> <p>1. 沖縄県難聴患者35家系97症例)に対して次世代シークエンサーによる100遺伝子の解析を行い10家系において新規変異を含む難聴原因遺伝子変異を明らかにした(投稿準備中).</p> <p>2. 原因不明遺伝子関連疾患の全国横断的症例収集・バンキングと網羅的解析(IRUD-P)の分担研究者として参加し、沖縄県全県レベルのIRUD-P体制を構築するとともに、琉球大学より16家系46検体を症例エントリーした。</p>		
社会貢献	0.05	市民公開講座や患者団体等における講演やマスコミを通じた耳鼻咽喉科疾患の啓蒙活動を行う。	0.05	<p>1. 市民公開講座「耳の日」講演会(2016/3/6)を開催、講演を行った。</p> <p>2. 乳幼児健康診査委員として小児保険協会の委員会に出席し乳幼児健康診査の改善、充実に貢献した。</p>		
管理運営	0.05	関連する委員会への参加を行う。	0.05	リハビリ運営委員会等関連する委員会への参加を行った。		
診療	0.40	診療科として年間100例以上の耳科手術を行う。	0.40	耳鼻科として年間160件以上の耳科手術を行い得た。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 	1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		上原 貴行	所 属		医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.15	病院実習(ポリクリ)学生に対する教育、指導		0.15	病院実習(ポリクリ)学生に対する教育、指導			
研究	0.20	頭頸部癌に対するHPV樹状細胞ワクチン開発に関する研究(H26年度科研費助成研究) 各種学会発表など		0.15	頭頸部癌に対するHPV樹状細胞ワクチン開発に関する研究(H26年度科研費助成研究) 各種学会発表など			
社会 貢献	0.10	琉大病院内の各種運営会議		0.05	琉大病院内の各種運営会議			
管理 運営	0.05	大学入試監督官業務等		0.05	大学入試監督官業務等			
診療	0.50	病棟、外来、手術業務、当直業務など		0.60	病棟、外来、手術業務、当直業務など			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		又吉 宣	所 属		耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.10	医学部医学科病院実習学生に対する教育、指導		0.15	病院実習(ポリクリ)学生に対する教育、指導			
研究	0.20	頭頸部扁平上皮癌におけるリゾフォスファチジン酸経路に関する研究(H27年度科研費助成研究)		0.10	頭頸部扁平上皮癌に対するリゾフォスファチジン酸経路に関する研究(H27年度科研費研究助成研究)			
社会 貢献	0.05	琉大病院内の各種委員会		0.10	大学病院内の各種運営会議			
管理 運営	0.05	大学入試監督官業務		0.05	大学入試監督官業務等			
診療	0.60	病棟、外来、手術、当直等		0.60	病棟、外来、手術業務、当直対応など			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		中村 明文		所 属		医学部附属病院
				職 名		准教授
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	日本精神神経学会専門医・指導医、臨床精神神経薬理学会専門医・指導医として、初歩から専門性の高い精神科診療までをわかりやすく、初期研修医、後期研修医へ伝えながら、臨床実務指導、教育を行う。医学科4年生に実習前の系統講義を行う。医学科5年生、6年生への臨床実習教育指導。スライドを用いながら、少人数で双方向性の授業も行う。教育学部心理学実習生への臨床実習指導も行う。		0.20	日本精神神経学会専門医・指導医、臨床精神神経薬理学会専門医・指導医として、初歩から専門性の高い精神科診療までをわかりやすく、初期研修医、後期研修医へ伝えながら、臨床実務指導、教育を行った。医学科4年生に実習前の系統講義(神経症、器質性障害、物質依存)を行った。医学科5年生、6年生への臨床実習教育指導を常時行い、科長の代理として精神科実習の総括と学生評価を行うこともあった。	
研究	0.20	バルプロ酸による高アンモニア血症の調査を300例規模で行う。非定型抗精神病薬の臨床反応性と神経伝達受容体遺伝子多型の関連についての研究を進める。気分障害に対して、気質などの各種評価項目を用いながら光療法を行い、その効果や適応となる症例の特長を見出す。地域精神科クリニックと連携した臨床研究を行う。日本臨床精神神経薬理学会等で発表を行う。		0.20	バルプロ酸による高アンモニア血症の調査を300例規模で行い、日本臨床精神神経薬理学会にて発表した。また、地域での研究会においても研究活動の報告を行い、臨床診療技術向上につながる情報提供も行った。国際的学術雑誌Therapeutic Drug Monitoringにラモトリギン関連の研究成果を報告した。また、共著者としてPsychiatry and Clinical Neuroscienceにも症例報告が掲載された。	
社会 貢献	0.10	障害認定審査員として、年間1000例以上の審査を行う。臨床医向けの講演を行う。東北被災地医療支援として1週間、岩手県沿岸部への出張を例年と同様に予定している。国立病院機構の外部審査員として2か月に1度、審査会へ参加を予定している。公立大学職員並びに学生のメンタルヘルス向上のために外部専門家として協力を予定している。		0.10	障害認定審査員として、年間1000例以上の審査を行った。臨床医向けの講演を行った。東北被災地医療支援として1週間、岩手県沿岸部への出張を例年と同様に行った。国立病院機構の外部審査員として2か月に1度、審査会へ参加した。公立大学職員並びに学生のメンタルヘルス向上のために外部専門家として月に1回、会議や面談に協力した。	
管理 運営	0.20	附属病院安全管理対策室副室長として各種会議に参加し、当事者のヒアリングなどを通じて、インシデントの原因を究明し、その再発防止対策に努める。精神科病棟内での行動制限最小化委員会をはじめとした各種会議に参加し、業務改善等をはかる。病棟収益の改善などに貢献する。		0.20	平成27年10月末まで附属病院安全管理対策室副室長として各種会議に参加し、当事者のヒアリングなどを通じて、インシデントの原因を究明し、その再発防止対策に努めた。精神科病棟内での行動制限最小化委員会をはじめとした各種会議に参加し、業務改善等をはかった。病棟収益の改善などに貢献した。患者から大学に対する医療訴訟があり、弁護士と打ち合わせを繰り返した後に、証人として出廷した。	
診療	0.30	スタッフと円滑な協力体制を築き、チーム医療を行う。光トポグラフィ検査など専門性が要求される医療を患者へ提供する。入院診療に関しては、入退院を円滑に促進し、病床稼働率の向上と平均在院日数の短縮に貢献する。		0.30	スタッフと円滑な協力体制を築き、チーム医療を行った。光トポグラフィ検査など専門性が要求される医療を患者へ提供した。入院診療に関しては、入退院を円滑に促進し、病床稼働率の向上と平均在院日数の短縮に貢献した。	
計	1.00	・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		青山 貴博	所 属		琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	臨床研修医および医学部学生への精神医学の講義および臨床現場における研修・実習の場面で実地指導を行う			0.20	医学部学生に対し、精神医学系1コマの系統講義を担当し、臨床実習では継続して臨床教育を行った。		
研究	0.10	一般精神科領域において、症例報告および観察研究を行い、成果を学会等にて発表する。			0.10	臨床精神医学領域の症例報告を九州精神神経学会にて発表した。		
社会 貢献	0.10	地域住民および地域の精神科関連の専門職に対して、精神疾患患者に対する知識について啓蒙を行う。			0.10	自殺予防活動として、医学部学生の特別講義でゲートキーパー育成講座を行った。		
管理 運営	0.10	所属診療科において助教として診療科長の指導監督の元で診療科の管理運営を行う			0.10	所属診療科において助教として診療科長の指導監督の元で診療科の管理運営を行った。		
診療 業務	0.50	精神科外来および病棟において、一般患者における診療に従事している			0.50	精神科外来および病棟において、一般患者における診療に従事した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		千葉 至	所 属		医学部附属病院放射線科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.10	授業およびポリクリ実習の指導		0.10	予定通り実施できた。			
研究	0.10	低酸素PETイメージング薬剤18F-FAZAの合成や臨床研究への応用		0.10	県の医療基盤活用型クラスター形成支援事業による予算を活用し、現在の設備での合成可能性の検討や、講演会の開催などを行った。			
社会 貢献	0.10	沖縄県核医学分野のレベルアップのため教育研修会や講演会を開催		0.10	核医学懇話会や心臓核医学教育研修会などを開催した。			
管理 運営	0.30	附属病院の核医学部門やPETセンター、放射線安全委員会などを運営		0.30	予定通り実施できた。			
診療	0.40	核医学検査を主とする画像検査やRI内用療法、RI外来の実施		0.40	予定通り実施できた。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		有賀 拓郎	所 属		医学部附属病院 放射線科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育 ・学生 支援	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 放射線治療の重要性の教育 放射線治療の適応の教育 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 実習に来る学生より、放射線治療の適応に関して勉強になったとの声が多く聞かれ、一定の基準を達成していると考えられる。 			
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 進行食道癌の根治的放射線治療成績の論文化。 小線源治療併用前立腺癌全骨盤照射の臨床試験化 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 目標として設定した項目に関しては、いずれも準備段階である。引き続き次年度も継続する。 全国他施設共同試験として、脳定位照射、頸部食道癌に対するIMRT、肺定位照射、全身照射の全国調査への参加が決定した。 			
社会 貢献	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度医療基盤活用型クラスター形成支援事業(沖縄県における高精度放射線治療の推進と安定提供に向けた基盤構築)の活動推進 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 県医師会での発表、沖縄県医学会雑誌に対する寄稿、市民公開講座の施行など、非常に充実した内容を提供できた。 			
管理 運営	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 高精度放射線治療の標準化 高精度放射線治療の開始の迅速化 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 医局員の習熟度上昇がみられ、個人に依らない業務遂行が可能になりつつある。次年度も継続して目標設定とする。 			
診療	0.20	<ul style="list-style-type: none"> 当院での高精度放射線治療の拡大。 小線源治療(子宮頸癌 前立腺癌)の標準化。 放射線治療の適応増加。 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は特に頭頸部腫瘍に対して高精度放射線治療が拡充した。また、子宮頸癌に対してはほぼ標準化が完了したと考えられる。 			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		伊良波 裕子	所 属		附属病院 放射線科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.10	講義やポリクリ実習にて適切な指導を行う		0.10	講義、学生実習ともに予定どおり指導を行った。			
研究	0.15	前立腺や女性骨盤臓器のMRIについての研究		0.10	日常診療業務に圧迫され予定より時間をかける余裕がなかった。			
社会 貢献	0.10	学会、研究会への参加		0.15	定期的な国内学会参加に加え、査読のある国際学会への参加を実現した。			
管理 運営	0.05	救急部運営協議会委員		0.05	毎月委員会に参加した。			
診療	0.60	日常診療業務(読影、血管造影、外来など)		0.60	主に読影を中心に診療を行った。CT,MRIの全件読影を行った。			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		安部 真教	所 属		医学部附属病院 麻酔科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生・研修医に対し、積極的に実習に参加できるよう、安全に注意を払い丁寧に指導教育を行う。研修医に対し実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導教育する。			0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。超音波や透視室を利用した神経ブロックを指導し、安全に実施することができた		
研究	0.20	麻酔、ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する			0.10	ペインクリニック、緩和ケアの臨床研究、症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。原著論文を作成し学会誌に掲載された。		
社会貢献	0.10	地域関連施設に週一回出向し、関連施設の医師および看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援および技術の還元を行う。			0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。看護学校での講義を行った。		
管理運営	0.10	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行う。外来業務に携わるスタッフと協力し、安全かつ効率的に外来業務を行う。			0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。		
診療	0.40	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来で疼痛患者の治療を行い、緩和ケアチームの活動運営を行う。			0.50	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において痛みの治療を行い、多くの患者でQOLの改善がみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		比嘉 達也	所 属		麻酔科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来の実習監督を行い、指導する。教官として学生、研修医の進路指導に関わる。			0.20	医学部学生、研修医に対し、講義、臨床実習を通して全身管理、麻酔管理、ペインクリニックの教育、指導を行った。神経ブロックの説明に骨の模型を用いるなどの工夫を行った。		
研究	0.10	麻酔、ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。			0.10	ペインクリニック、緩和ケアの症例検討を行い、ペインクリニックに関して学会発表を行った。		
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行った。緩和ケア研修会でペインクリニック、緩和ケアに関する講義を行った。		
管理運営	0.10	スタッフとして医局、手術室、ICU運営に協力する。			0.10	手術室看護師、外科系医師と協力し、安全・迅速に手術室運営を行った。外来看護師、スタッフとも協力して運営を行い、大きな問題は生じなかった。		
診療	0.50	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて患者を診療し治療する。			0.50	附属病院手術室において、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療の提供に努めた。ペインクリニック外来において疼みの治療を行い、QOLの改善が多くの患者にみられた。院内緩和ケアチームの活動を行い、癌治療に伴う苦痛の軽減を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		久保田 陽秋	所 属		附属病院 麻酔科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.10	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理についてエビデンスや自己体験に基づくアドバイスを示しながら指導する。手技に関するシミュレーション教育・周術期管理に関する教育を積極的に行う。			0.15	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理についてエビデンスや自己体験に基づくアドバイスを示しながら指導した。また、手技に関するシミュレーション教育・周術期管理に関する教育を積極的に行った。		
研究	0.15	科研費 若手研究(B)の採択に伴い一酸化窒素合成酵素と脳梗塞に関する基礎研究を計画・実施する。また、臨床に関しても、学術集会、学術誌等で発表を行う。			0.15	科研費 若手研究(B)の採択に伴い一酸化窒素合成酵素と脳梗塞に関する基礎研究を計画・実施した。		
社会 貢献	0.20	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.15	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。		
管理 運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。併せて、物品管理も行う。出産・育児に関わる医師に配慮した配置の工夫を行う。			0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行った。併せて、物品管理も行った。出産・育児に関わる医師に配慮した配置の工夫を行った。		
診療	0.35	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、医療安全に配慮した周術期管理を行う。			0.35	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、医療安全に配慮した周術期管理を行った。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		神里 興太	所 属		医学部附属病院麻酔科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.25	学生、研修医、看護師、臨床工学技士に対し、周術期患者管理に関する知識や技術に関する教育を行う。特に麻酔器や人工呼吸器、持続血液ろ過透析装置等の急性期患者管理に必要な医療機器のしくみや取り扱いに関して講義のみならず実際の機器を用いた参加型の教育を行う。			0.25	学生、研修医、看護師、臨床工学技士に対し、周術期患者管理に関する知識や技術に関する教育を行った。特に麻酔器や人工呼吸器、持続血液ろ過透析装置等に関して研修医などに講義を行った。(シミュレーションセンターでの講義など)		
研究	0.20	基盤研究の獲得に向け脊髄障害モデルを用いた研究を行い、論文の執筆を行う。また、集中治療室において肝補助療法等の高度医療の最適化に向けた臨床研究を行う。			0.15	基盤研究の獲得に向け脊髄障害モデルを用いた研究を行なった。一報採択となり、論文の執筆を行い現在2報目を投稿中である。また、集中治療室において肝補助療法等の高度医療の最適化に向けた臨床研究を行うべく、データの集積を開始した。		
社会貢献	0.15	県下の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に対して講演する。			0.15	県下の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に対して講演を行った。(日本神経麻酔集中治療学会、沖縄県クリティカルケア研究会など)		
管理運営	0.10	大学および大学病院における委員会の活動に貢献する			0.10	大学および大学病院における委員会(救急部運営協議会など)の活動に参加、貢献した		
診療	0.30	院内における手術麻酔管理(術前・術後を含む)および集中治療管理に従事し、安全な医療を提供する。集中治療室において肝補助療法や腎代替療法を用いた先進的かつ高度な専門治療を行い疾患治療に貢献する。			0.35	院内における手術麻酔管理(術前・術後を含む)および集中治療管理に従事した。安全な医療を提供すべく、他職種と協力して診療にあたった。集中治療室において肝補助療法や腎代替療法を他職種と共に施行した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		和泉 俊輔	所 属	医学部 附属病院 麻酔科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.30	医学部での系統講義ならびにM5、M6への病院臨床実習における指導を行う。初期研修医に対しては、初期臨床研修必須項目を実施できるように指導する。医学部医学教育企画室の委員として尽力する。		0.30	医学部での系統講義ならびにM5、M6への病院臨床実習における指導を行った。初期研修医に対しては、初期臨床研修必須項目を実施できるように指導した。医学部医学教育企画室の委員として尽力した。	
研究	0.10	基盤研究の獲得に向け培養肺細胞を用いた研究を行い、論文の執筆を行う。また、手術室において脊髄虚血に関連した臨床研究を行う。		0.10	基盤研究の獲得に向け培養肺細胞を用いた研究を行い、論文の執筆を行っている。また、手術室において脊髄虚血に関連した臨床研究を行っている。また学会にてシンポジストとして発表を行った。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。	
管理運営	0.15	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行う。		0.15	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行った。	
診療	0.35	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。新規手術の導入に向けた麻酔管理を準備していく。		0.35	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。新規手術の導入に向けた麻酔管理を行っている。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲宗根 敏幸	所 属		医学部歯科口腔外科	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県における口腔外科の重要性および必要性を認識できる。(学生・ポリクリ学生) (アンケートにて半数以上が口腔外科が必要であると認識する。) ・歯科医師臨床研修医への基礎講義および実技指導。 (研修医に知識の向上、技術upを自己評価してもらう。) ・研究経過報告会を開催。(研究に対し興味を持てるか評価してもらう。ポリクリ学生・研修医) ・学生からの積極的な意見の聴取 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県における口腔外科の重要性および必要性を認識できた。(学生・ポリクリ学生) ・歯科医師臨床研修医への基礎講義および実技指導を行えた。 ・研究経過報告会を開催を行っている(研究に対し興味を持てるか評価してもらう。ポリクリ学生・研修医) 		
研究	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌への投稿、発表 ・学会での報告発表 ・外部資金の獲得 ・口腔癌における予後不良症例に対する検討 			0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・学会誌への投稿を行った。 ・学会での報告発表を行った。 ・外部資金の獲得は行っていない。 ・口腔癌における予後不良症例に対する検討を継続的に行っている。 		
社会 貢献	0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・外国留学生に対する教育および研究指導。 ・JICA草の根支援事業パートナー型(The Cha Ganjyu School and Community-besded Oral Health Promotion Project)におけるラオス歯科医師への技術指導。学校・地域歯科保健指導) 			0.15	<ul style="list-style-type: none"> ・ラオス国において教育および研究指導を行っている。 ・JICA草の根支援事業パートナー型(The Cha Ganjyu School and Community-besded Oral Health Promotion Project)におけるラオス歯科医師への技術指導を2-3回/年行っている。学校・地域歯科保健指導) 		
管理 運営	0.10	病棟・医局管理運営をスムーズに行える。			0.10	講師として病棟・医局管理運営をスムーズに行える。		
診療	0.40	病棟・外来診療および手術。			0.40	将来の展望をアンケートにて調査。その結果に基づき進路相談を行っている。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		河野 俊広	所 属		医学部附属病院歯科口腔外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	歯科口腔外科外来での診療やカルテ記載の指導。臨床研修ゼミ(顎変形症)の担当。			0.10	医学部学生へ隔週ごとの顎変形症についての講義。歯科衛生士学校での4~7月までおよび12月の国家試験前講義。当科研修歯科医師への学術的および技術的な指導をおこなった。		
研究	0.30	口腔癌の再発、転移に関連する因子について、当科の過去データから検証おこなう。同じく分子生物学的な因子の検索も併せておこなう。臨床的、病理学的に稀有な症例の学会発表、論文投稿。			0.30	2016年1月に日本口腔腫瘍学会(横浜市)で術後放射線化学療法による有害事象について発表おこなった。		
社会 貢献	0.10	JICA事業のイベントへの参加、協力。学会開催に向けての準備作業。			0.10	コーポレートゲームの際のJICA事業啓蒙活動。口腔科学会地方会および口腔ケア学会総会への準備作業への参加を現在もおこなっている。		
管理 運営	0.10	リハビリテーション部運営協議会委員、その他医局員の出席不可能時の代理出席および医局会での周知。			0.10	総医局長として、医局長会議と病院経営会議へ毎月参加した。外部病院からの医局員派遣依頼に対して適宜対応した。		
診療	0.30	歯科口腔外科外来班のメンバーとして、新患対応と入院治療へのスケジュール管理。研修医への知識および技術的指導。			0.40	歯科口腔外科外来メンバーとして、新患対応、経過観察患者、口腔がん術後フォロー患者(火曜午前の腫瘍外来)で時間制限ある中で可及的多数の患者診察おこなった。また顎変形症患者に対する顎矯正手術を8例おこなった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		後藤 尊広	所 属		医学部附属病院 歯科口腔外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.10	新たに医局に入局する研修医、また2年目を迎える後期研修医に対する臨床現場での指導。さらに、研究の楽しさを教えるために学会発表指導を行い、大学院への入学の足掛かりとなる存在になりたい。 医学部学生に対しては、講義や手術を通じて、病院歯科の役割などを体感してもらいたい。			0.10	一部の研修医の学会発表を指導し、研究に興味を持てるような動機付けをおこなった。		
研究	0.25	1年に1本以上の英語論文執筆、投稿、アクセプト。加えて、学会発表を国内外で行う。 実績が外部獲得資金に繋がることを意識していく。			0.25	科研申請、学会発表国内1回・海外1回。英文論文作成中で、近日中に投稿予定である。		
社会貢献	0.20	ラオス国における口唇口蓋裂無償手術活動の継続参加。沖縄県内口唇口蓋裂患者家族の会の定期講演主催。感染症関係の講演の受け入れ等多数に及ぶことを実践していきたい。			0.20	12月17日より23日までラオス国でのチャリティーオペレーションに参加した。口唇口蓋裂患者家族会を2回開催、また院外広報や往診を行い、社会貢献をしてきたとは、まずまずの成果であると考えている。		
管理運営	0.05	各種委員会への参加。さらに、臨床では診療報酬向上を意識し、病院収益に貢献する。			0.05	年間を通じて臨床業務では常に病床稼働率を意識して取り組んできたが、季節によっては満床状態を保つことができなかった。		
臨床	0.40	専門の口唇口蓋裂手術ならびに管理。さらに口腔外科疾患の治療と、口腔ケアに積極的に取り組んでいく。 日本口腔外科学会専門医を取得する。			0.40	専門である口唇口蓋裂患者は増加傾向を示しており、専門外の手術や病棟管理をおこなうことに多くの時間を要した。臨床としてはまずまずの結果を残したと自覚するが、その反面、研究業がおろそかになった部分があることは否めず今後の最大の課題と考えている。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		片岡恵一	所 属		医学部 歯科口腔外科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.30	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療に関して、新人教育および学生教育にカリキュラムとして導入する。卒後研修医局員に対し、適切な歯科に関する知識、技術を提供し、今後の進路および得意分野の開発におけるアドバイスを行う。また、学会発表、論文作成を研修医などを含めて行い、大学院への勧誘も行う。			0.25	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療に関して、新人教育および学生教育にカリキュラムとして導入した。卒後研修医局員に対し、適切な歯科に関する知識、技術を提供し、今後の進路および得意分野の開発におけるアドバイスを行った。また、学会発表、論文作成を研修医などを含めて行い、自ら社会人大学院へ入学し、基礎の研究を行うことにより、後輩へその環境を提供した。		
研究	0.20	外科的矯正治療および先天異常疾患に起因する矯正治療における、機能、形態学的な臨床研究の立ち上げを行う。若手研究Bもしくは基盤研究Cでの競争的資金獲得を目指す。			0.25	過去の臨床データの整理を行い、現在の当科の治療成績に関する評価を中心に臨床研究を兼ねて行った。今後、データをもとに新規治療や研究への足がかりを作った。また、若手研究Bでの研究費の申請を行った。		
社会 貢献	0.10	診療科としての特色である、顎変形症、口唇口蓋裂治療に関する情報発信を行う。当初、歯科口腔外科のホームページでの情報発信から始めていき、市民公開講座などでの広義での情報提供、歯科健診などのスクリーニングによる狭義での情報提供を行う。			0.10	口蓋裂親の会、市民公開講座での講演を行い、広く社会へ情報発信を行った。		
管理 運営	0.10	医局運営の円滑化、セキュリティの強化に努める。			0.10	医局運営の補助を中心に行った。人手の足りない業務への積極的参加など。		
診療	0.30	顎変形症、口唇口蓋裂、先天異常症例における歯科矯正治療症例、私費の矯正歯科治療、および一般歯科治療より多くの症例を受け入れ、大学病院の診療科としての付加価値を向上する。			0.30	顎変形症、口唇口蓋裂、先天異常症例における歯科矯正治療症例、私費の矯正歯科治療、および一般歯科治療より多くの症例を受け入れることができた。28年度以降への手術件数、外来件数につながる足がかりとなった。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		又吉 亮	所 属		医学部歯科口腔外科	職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.20	ポリクリ学生へ医科歯科連携の重要性について、将来連携が取れるように講義を行う。研修医への診療指導。		0.15	学生講義の時間に患者対応することがたびたびあり、十分な講義時間が確保できないことが何度かあった。研修医への診療指導についてはおおむね達成された。				
研究	0.30	英文誌へ投稿。国内学会発表。口腔癌治療に関する多施設共同研究に参加。		0.25	国内誌に投稿した。国内学会発表を行った。多施設共同研究への参加が本格始動し、症例登録できた。英文誌には投稿できていない。				
社会貢献	0.05	講座主催の市民フォーラムなどへの参加。		0.05	目標達成された。				
管理運営	0.05	病院内各種委員会に参加(感染対策、ICU運営、レジメン)し、病院運営に積極的に参加。講座ホームページを管理。		0.05	目標達成された。				
進路指導	0.05	医員・研修医が大学院進学を目指し、研究活動に興味を持てるように指導。		0.10	大学院進学を希望した医員へ、自己の経験を踏まえてのアドバイスを行った結果、院試を受けた。				
診療	0.35	外来診療(1日)、病棟診療(4日)。口腔癌治療を中心に入院患者の管理を行う。		0.40	癌患者の治療については治療概念が変化したため、それに対応した入院患者管理を多種導入した。術後の患者の治療経過は良好になった印象だが、様々な治療を取り入れたため、スタッフ間の混乱も生じることが多く、その対応に追われることが多かった。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		新里 朋子	所 属		第3内科、リハビリテーション部	職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	心肺運動負荷試験の方法, 評価判定を習得できるよう指導する。 学生に心不全講義(心臓リハビリテーション)の講義を行う。			0.25	心肺運動負荷試験の方法, 評価判定を習得できるよう指導した。学生に心不全講義(心臓リハビリテーション)の講義を行った。ポリクリ実習生に心臓リハビリテーションの場を見学させ、ミニレクチャーを行った。		
研究	0.10	「多施設共同研究によるCKD患者の腎機能障害に対する運動療法の検討」に参加する。			0.05	多施設研究に参加し、2例の登録を行った。琉球大学医学部附属病院の心臓リハビリテーションのチームリーダーとして、学術集会でポスター2演題の発表を指導した。		
社会貢献	0.20	・心臓リハビリテーションにより、循環器疾患患者のADL/QOLの改善・維持向上および再発予防に取り組む。 ・動脈硬化疾患に関する市民公開講座(啓蒙活動)に助力する。			0.20	拡張型心筋症の患者会で、当院の南部路治 理学療法士とともに運動療法の講演会を行った。		
管理運営	0.20	・心臓リハビリテーション部門の多職種連携を推進する。			0.20	心肺運動負荷試験の方法, 評価判定を習得できるよう指導した。学生に心不全講義(心臓リハビリテーション)の講義を行った。		
診療	0.30	・循環器患者に心臓リハビリテーションを行い、患者のQOL/ADLの改善に取り組む。			0.30	循環器患者に心臓リハビリテーションを行い、患者のQOL/ADLの改善に取り組んだ。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		系 嶺 達	所 属	医学部附属病院安全管理対策室	職 名	特命講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.10	看護師、研修医、医学生その他の医療従事者に対し医療安全に関する講義を行う 医学部3年次学生に対し薬理学の講義で「オピオイド受容体」を担当する		0.10	同左	
研究	0.10	学会発表、論文作成を行う		0.00	計画・立案は作成したが、発表には至らなかった	
社会 貢献	0.05	沖縄県医師会 治験審査委員会(IRB)の外部委員として参加 沖縄県立看護大学にて「臨床薬理学」担当		0.10	同左	
管理 運営	0.75	医療安全に関する各種委員会の運営		0.80	医療安全に関する各種委員会の運営 患者サポート体制連絡会議の参加 院内感染対策委員会の参加	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		廣瀬 康行	所 属	附属病院・医療情報部	職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育啓蒙	0.09	・セキュリティ等に関わる院内講習会等を開催する(数回を予定)		0.10	・セキュリティ等に関わる院内講習会は開催しなかったが、病院長ならびに院内各種委員会からの依頼に応じて、セキュリティ関係の院内規程の改正に多大な助言と貢献を実施した。	
研究	0.35	・他の研究機関等との共同研究を実施する(厚労省委託事業等) ・学会等での報告発表にエントリーする		0.35	・他の研究機関等との共同研究を実施した(AMED委託事業ならびに経産省委託事業) ・医療情報学会において、セキュリティに関する発表を行った。	
社会貢献	0.35	・ISO(国際標準機構)TC215 に参画し本邦の国益および世界に貢献する ・ISO(国際標準機構)TC249 に参画し本邦の国益および世界に貢献する ・学外の教育機関において情報リテラシー等の基礎を教授する ・学会での委員会活動を実施する		0.45	・ISO(国際標準機構)TC215 に参画し本邦の国益および世界に貢献した。具体的には、Project Lead を務めている ISO/TS 18062 の publish が容認された。さらに、新規案件の研究開発を実施しつつ新規提案の指示支援を実施した。 ・ISO(国際標準機構)TC249 に参画し、国内外の案件の改善支援ならびに新規提案の支援を実施し、本邦の国益および世界に貢献した。 ・学外の教育機関において情報リテラシー等の基礎を教授した。 ・日本医療情報学会、日本東洋医学会、全日本鍼灸学会、および 日本東洋医学サミット会議 での役員活動ならびに委員会活動を実施した。 ・医学生向け 漢方セミナー において教育講演を行った。 ・沖縄で開催された医療情報学連合大会の副大会長を務めた。	
管理運営	0.20	・病院ポータルサイトの管理運営 ・院内RAINSの管理運営(総合情報処理センターと協同) ・もしITの戦略的活用に関わる任が委嘱にされれば、これを実施する ・もし病院経営分析の一部自動化を依頼されれば、これを実施する ・もし総務処理の一部自動化を依頼されれば、これを実施する		0.10	・病院ポータルサイトの管理運営を指揮した。 ・院内RAINSの管理運営(総合情報処理センターと協同)を指揮した。 ・ITの戦略的活用に関わる任は委嘱にされなかった。 ・病院経営分析の一部自動化を依頼されなかった。 ・総務処理の一部自動化を依頼されなかった。	
進路指導	0.00	・学生指導の担当割当はないので該当しない		0.00	・学生指導の担当割当はないので該当しない。	
診療等	0.01	・DMAT 研修の参加を試み、もし割り当てられれば参加する		0.00	・DMAT 研修の参加申込を実施したが、割り当てられなかった。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		山本 俊成	所 属		医学部附属病院医療情報部
			職 名		講師
領域	業務 ウエイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウエイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.05	・セキュリティ等に関わる院内講習会等の開催をサポートする		0.05	・セキュリティ等に関わる院内講習会等は開催されなかったが、ネットワークにデバイスの増設に関する問合せがある度にセキュリティ上の助言をした
研究	0.30	・今後の研究を進めるためのリソースを蓄積する(今年度の学会では発表しないもの) ・伝統医学の情報・用語の国際規格策定に資する調査研究		0.30	・医療用漢方と一般用漢方の効能効果の疾病コード変換のリソースを確保し、蓄積した ・和文、台湾中文、英文の標準文書等のリソースを使って伝統医学の情報・用語の国際規格策定に資する調査研究を行った
社会 貢献	0.15	・伝統医学の情報・用語の国際規格策定に資する調査研究における漢方傷病名のICD対応試案の作成準備、および漢方製剤の効能へのコード割振と英語化について協力する		0.15	伝統医学の情報・用語の国際規格策定に資する調査研究における漢方傷病名のICD対応試案の作成準備、および漢方製剤の効能へのコード割振と英語化について協力しました。
管理 運営	0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・総合情報処理センターと連携しながら院内RAINSを維持運営する ・病院ポータルサイトの管理運営 ・脆弱性検査を実施する ・脆弱性検査結果によって各部署の担当者に情報セキュリティの知識を与えるレポートを配布する ・他部門のネットワーク環境の構築についてアドバイスする ・感染対策実務者会議に参加する ・リスクマネジャー会議に参加する ・経営改善委員会会議にオブザーバーとして参加する ・病院経営改善に係わるデータ分析を支援する ・災害対応の一環としてメールサーバ等のサブサーバを外部データセンターに設置する方策を検討する ・ファイルウォールの移行(但し、新しい機器を購入する予算が降りたならば) 		0.50	<ul style="list-style-type: none"> ・総合情報処理センターと連携しながら院内RAINSを維持運営した ・病院ポータルサイトを管理運営した ・病院ポータルサイトのサーバの脆弱性検査を実施した ・他部門のネットワーク環境の構築についてアドバイスした ・感染対策実務者会議に参加した ・リスクマネジャー会議に参加した ・経営改善委員会会議にオブザーバーとして参加した ・病院経営改善に係わるデータ分析を支援した ・感染対策室のメンバーとして病棟ラウンド、定例会議や訓練等を参加した ・災害対応の一環としてメールサーバ等のサブサーバを外部データセンターに設置する方策を検討した ・ファイルウォールが不具合のため、予備機に移行した
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		知念 久美子		所 属		医学部附属病院医療福祉支援センター		職 名		特命助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.05	医学生、研修医等に対して医療連携や診療録について講義、指導を行う				0.05	医学生(M4学生)、研修医に対して医療連携や診療録について講義、カルテ記載や診断書作成の指導を行った。				
研究	0.05	科研費への応募				0.01	日本医療連携研究会、国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会などの調査研究に協力した。科学研究費獲得については実現できなかった。				
社会 貢献	0.05	市民公開講座や地域連携の研究会などの開催				0.02	市民公開講座や研究会の開催の企画を行った。他部署企画の講座や患者会などに参加し意見交流を行った。				
管理 運営	0.30	医療福祉視線センターの運営管理				0.40	医療福祉支援センターの管理、センターがかかわる各事業、各委員会に参加した。				
進路 指導	0.05	医学生、研修医等に対する進路指導				0.02	医学生、研修医等に対して講義を通して認定医や専門医の取得に必要な助言を行った。				
診療	0.50	医療連携に関する患者・家族等の相談及び診療のほか、循環器専門領域での外来診療や検査等				0.50	医療連携に関する患者・家族等の相談について重要な相談や安全管理上問題となるような相談について助言を行った。他医療機関を訪問し地域連携・退院調整について情報収集等を行った。診療については循環器専門領域での外来診療や検査等を担当した。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		土井 基嗣	所 属	沖縄県地域医療支援センター	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.50	地域枠学生のキャリア支援をサポートするために、まず地域枠学生同士の交流の場を設定する。地域医療に対するモチベーション低下を防ぐため、地域医療に関連する情報発信、相談への対応、セミナーなど企画検討する。		0.50	地域枠学生のキャリア支援をサポートするために、地域枠学生同士の交流の場を設定する。地域医療に対するモチベーション低下を防ぐため、地域医療に関連する情報発信、相談への対応、セミナーなど企画運営した。	
社会 貢献	0.50	沖縄県内の医師偏在の実態を把握するために、20床以上の病院にアンケートを実施し医師データベースを作成中。各地域へのヒアリングも行い、今後の地域枠医師のキャリア支援の参考にするため継続して行う予定。		0.20	沖縄県内の医師偏在の実態を把握するために、20床以上の病院にアンケートを実施し医師データベースを作成中。各地域へのヒアリングも行い、今後の地域枠医師のキャリア支援の参考にするため継続して行う予定。	
診療	0.00			0.30	院内および院外の外来、甲状腺エコー、病棟などの診療業務を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		仲松正司	所 属	医学部附属病院	職 名	特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.40	研修医、学生に対して感染症診療・感染制御についてのレクチャー等行う		0.30	看護師、医師に対して血液培養のレクチャーを行った。医学生に対し定期的に感染制御の抗議を行っている。	
研究	0.20	院内での感染制御、感染症についてデータを収集し学会発表を行う		0.20	感染症学会総会、化学療法学会総会で発表を行った	
社会貢献	0.40	1-1連携、1-2連携等を通じて他院での感染対策などのコンサルテーション、講演等行う		0.10	沖縄病院との相互チェック、大浜第一病院やアドベンチストメディカル病院と感染制御の会議を定期的に行った。	
診療	0.00			0.40	院内の感染症症例のコンサルトをうけ、血液培養陽性症例への診療支援を行った。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		堂籠博		所 属		琉球大学附属病院 救急部		職 名		特命准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生 支援	0.20	学部教育で医学生への講義を行う				0.20	講義実施、臨床修練での指導を行った。				
研究	0.10	学会での発表を行う				0.10	国際学会・国内学会での発表を行った。				
社会 貢献	0.10	学会評議員を行う。				0.05	学会の評議員活動を行った。				
診療	0.60	救急部での診療を行う。				0.65	通常の診療とともに、時間外(予定外)診療へも従事した。				
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 				1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	玉城佑一郎		所 属	医学部・医学研究科		職 名	特命講師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.42	学内救急医療講義で救急医療について講義教育する。臨床実習で救急現場において経験させ救急診療やプレゼンテーション力を養う。初期臨床研修医への救急診療教育や医療安全教育を行う。医学部医学科学学生の部活や医療ボランティア活動に携わり指導に努める。臨床実習時に地域卒の学生、救急部にローテーションする初期臨床研修医と診療を一緒に行いながら救急診療の重要性を教え指導し、将来この分野を専門とする医師または救急医療に関わる医師の育成に努める。		0.38	医学部学生や研修医、出向医師への講義は例年通りで、教育面に関して継続する事が出来ている。医学部高学年学生や研修医の救急車同乗実習は人気があり、これらも継続出来ており高評価のフィードバックをもらった。東京大学救急部との連携が新たに出来、研修医や学生への講義やレクチャーを開催し、臨床研修センターも巻き込んで病院全体の教育に役立てることが出来た。その内容もさらに踏み込んで来年につなげることを可能にした。東京大学と合同で行っていたwebカンファレンスを中止にせざるを得なかった。			
研究	0.04	救急受診時にトリアージを行う事で医療行為効率の変化について研究を進める。災害医療については日本における災害の研究および米国災害医療システムと比較しながら研究を進める。救急診療の受診患者を多方面から切り取り、統計を考察し学会などで発表していく。		0.08	院内初の災害訓練を看護師や事務と合同で行うことが出来た。問題点も知ることが出来、今後の訓練に活かすことが可能になったと考える。学会での教育講演は出来たが論文投稿が課題となった。			
社会 貢献	0.08	アメリカ心臓協会(AHA)による心肺蘇生講習のトレーニングサイト(TS)に関わり、多くの県内医療従事者や一般市民への研修を手助けしていく。各スポーツイベントの医療に携わりながら救急医療を生かしていく。人手の足りない他の救急診療を手助けしていく。		0.07	トレーニングサイトへも積極的に参加しインストラクター資格を取り、医学部学生や医療従事者へ指導する事が出来た。各スポーツイベントへの医療指導やアドバイスも行う事が出来たが、以前と比較すると参加出来ない事が多かった。平成27年度は特に全日本トライアスロン宮古島大会で医療リーダーとして全体を運営する事が出来た。			
管理 運営	0.14	診療報酬も変わった為、昨年と比較し救急外来での感染対策や診療方法などの見直し、新しく建設された救急病棟での取り組みなど、問題点を挙げながら運営に関わっていく。		0.15	特に診療報酬に付いては医局会で保険病名や検査項目などの指導を行い、徐々に改善出来ており、それを維持出来ている。逆紹介率も徐々に改善し、今まで以上に査定率を減らすことが出来た。文科省中期計画を考察する事も出来た。救急科でのシステム作成も積極的に取り組むことが出来た。			
診療	0.32	救急車患者受診数や入院患者数を増やし黒字転化に貢献していく		0.32	救急車台数は例年通り維持する事が出来ており、さらに入院患者数を増加させる事が出来た事が大きい。今後は重症患者の入院数を増加させる事が課題となった。			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	古波蔵健太郎		所 属	医学部附属病院血液浄化療法部		職 名	准教授		
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.20	授業内容を大幅に見直し系統立った内容にする、TBLに沿った、PBLに沿った学生、研修医教育スキルの向上、医員に対する専門医教育の充実(系統だったカリキュラムの整備、教育手法の確立)と臨床研究指導、大学院生の研究指導を行う		0.20	授業で使用する資料の見直し、医員に対する専門医教育のための資料作成、ミニレクチャー、最新の情報提供などを行った。PBL形式の実践的な授業をスタートさせた。大学院生の論文作成のサポートや臨床研究のテーマを決めて開始することができた。学会や県内外の講演会を通じて専門領域の教育を行った。				
研究	0.30	慢性腎臓病、心血管病、メタボリック症候群の相互連関に関して高尿酸血症、C3、細動脈炎症とCKDの相互作用に着目した臨床研究、RAの心血管病、腎障害進展因子に関する臨床研究、尿酸降下薬を用いた前向き研究などを進める。その他、臨床研究の論文投稿を進めていく。当施設ならびに関連施設の症例を登録してコホートスタディを開始する。		0.30	IgA腎症の前向きスタディの結果を国際学会で報告した。グループの腎内細動脈病変関連の研究がHypertens Researchの年間優秀論文に選出されたほか研究会でAwardを受賞した。その他、一連の研究を学会で報告し論文投稿中である。いくつかの総説を書いた。尿酸降下薬の後ろ向き研究がHypertens Researchにアクセプトされた。血液浄化関連の研究に関して若手や県内の医師と共同して研究を行った。AMED関連で2つの共同研究を班員として行っている。多発性嚢胞腎の現況と予後に係る研究を開始した。ファブリー病の治療薬に関して治験症例1例に対する治療を開始した。				
社会貢献	0.10	地区医師会、栄養士会、企業の保健士、地域住民むけの講演会を行う。地域の保健師さん、基幹クリニックと協力して地域のCKD患者を網羅的に把握しHigh risk population-based approachによるCKD診療システムの構築を目指す。		0.10	地区医師会や企業主催の講演会、保健師対象の研修会などで講演を行った。慢性腎臓病対策に関する新たなシステム作りや検診システムの効果的な運用に関する連携に関して国保連合会の評価委員として多くの提言を行った。南城市の保健師とハイリスク患者の検討協議会を立ち上げプロジェクトの準備をしている。				
管理運営	0.20	血液浄化療法部スタッフならびに第三内科腎グループの医員を統括し、個々の特徴に目を向けた個別目標とグループ全体としての臨床および研究の目標設定およびその達成に向けて努力する。ワークライフバランスに配慮した組織運営を目指す。血液浄化療法部として中央診療部としての安全性、サービス向上を目指して管理運営を行う。		0.20	定期的にチームとしての方向性を示し、さらに各医員の特徴を生かせるように個別に方向性を示してサポートした。臨床並びに研究面での進捗管理とサポートを行った。グループ内の人間関係の調整を図り、チームとして機能が発揮できるような環境作りを行った。血液浄化部のクリニカルインディケーターの見える化ツールを作成し運用を開始した。血液浄化部の多職種それぞれがより働きやすい環境を提供するためにヒアリングと個別の課題の解決に向けて関係部署と調整を行った。血液浄化部関連の新たなプロジェクトを立ち上げ研究助成を獲得、運営するしくみづくりを行った。				
診療	0.20	個々の患者の病態に基づいて個別化医療をチームで取り組む。		0.20	腎グループの入院患者ならびに外来患者の診療を各医員とともに深く掘りさげてエビデンスに基づく治療の標準化と個別化という視点できめ細かな診療をおこなった。多職種で連携して患者の様々なニーズに対応した診療を行った。				
計	1.00			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		山城剛	所 属		琉球大学附属病院検査・輸血部	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.12	琉球大学医学部学生、研修医に対して、血液製剤の適正使用に関する知識と副作用の知識、対処法に関して教育を行う。			0.12	琉球大学医学部学生に対しては血液製剤の種類、使用目的、保存条件、使用期限など基本的な知識について、研修医に対しては血液製剤適正使用、副作用に関する知識、対処法に関して教育を行った。		
研究	0.05	・マイクロアレイ、モデルマウスを用いた非アルコール性脂肪性肝炎の病態解明(論文作成)、・French national reference laboratory とのD型肝炎に関する国際共同研究(サンプル収集)			0.05	① マイクロアレイ、モデルマウスを用いた非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)の病態解明について論文作成中。②抗酸化作用をもつテトラヒドロルクミン含有食品のNASH患者へ投与を行った臨床研究(外部機関へ委託)結果の評価を行っている。③French national reference laboratory とのD型肝炎に関する国際共同研究ではHDV感染者の血清サンプル収集中である。		
社会貢献	0.03	消化管内視鏡検査は消化器癌の早期発見に重要な検査であるが、沖縄県は需要に対する内視鏡専門医の絶対数が少ない。地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として社会貢献を行う。			0.03	地域病院の要請に応じ、消化管内視鏡専門医として消化器癌の早期発見のため、下部内視鏡検査を行った。		
管理運営	0.80	琉球大学医学部附属病院検査・輸血部講師として、検体検査の判断の補助を行うとともに、検体検査全般の管理・運営に携わる。			0.80	琉球大学医学部附属病院検査・輸血部講師として、輸血業務の管理、検体検査部門全般の管理・運営に携わった。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		外間 昭	所 属		附属病院 光学医療診療部	職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.10	系統講義、病棟回診補佐、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行う。			0.10	系統講義、病棟回診補佐、研修医への診療指導、内視鏡担当医への技術指導を行った。1年次の指導教員を務めた。		
研究	0.25	英文原著 2報、英文症例報告・短報 3報の採択及び科研費の採択を目指す。			0.25	筆頭著者または責任著者として英文原著 1報、英文症例報告・短報 2報の採択を達成した。		
社会 貢献	0.05	消化器・肝臓に関する市民公開講座を開催する。欧米学会雑誌から依頼される論文の査読を行う。			0.05	薬品会社と共催した消化器疾患に関する講演や座長を務めた。欧米学会雑誌から依頼される論文の査読を約30件行った。		
管理 運営	0.10	大学院生の指導を行い、年度内の学位論文の採択と学位取得を目指す。			0.10	大学院生の指導を行い、年度内の学位論文の採択3件と学位取得1件を達成した。		
診療	0.50	外来診療(週1日)、内視鏡検査(週3日)と入院患者回診を継続する。			0.50	外来診療(週1日)、内視鏡検査(週3日)と入院患者回診を継続した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		金城 渚	所 属		医学部附属病院 光学医療診療部	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.25	医学部学生への臨床講義を半年に1~2コマ担当する。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医、また消化器病・内視鏡専門医をめざす医師に対し消化器内視鏡全般の指導を行う。消化器病学会、内視鏡学会、消化器がん検診学会を中心に年に数回発表もしくは発表時の指導を行う。進路指導については消化器疾患の中で主とする専門分野として、細分化された上部消化管疾患、下部消化管疾患、肝胆膵疾患について大まかな説明は可能であり、これまでも相談を受けてきた。			0.25	医学部学生への臨床講義を半年に1コマ以上担当した。ポリクリ実習生、研修医、後期研修医、また消化器病・内視鏡専門医をめざす医師に対し消化器内視鏡全般の指導を行った。消化器病学会、内視鏡学会、消化器がん検診学会を中心に年に10回以上発表時の指導を行い、自らも3回発表を行った。		
研究	0.20	ラオス国セタティラート病院における内視鏡技術移転について現地ラオス人医師とメールにて内視鏡所見データのやり取り、データの解析を進めている。平成27年度は現地セタティラート病院へ赴き、直接指導を行う。また、ラオス国立大学附属病院 病理医を交えて、セタティラート病院の症例につて病理カンファランスを予定とする。			0.20	ラオス国セタティラート病院における内視鏡技術移転について現地ラオス人医師とメールにて内視鏡所見データのやり取り、データの収集を行った。2016年2月10日から2月203日の間、実際にセタティラート病院へ赴き 現地にてセタティラート病院およびタイ マハディール大学主催の内視鏡ハンズオンセミナーに講師として参加。また実地の内視鏡指導を行った。		
社会 貢献	0.10	沖縄消化器内視鏡会の副会長の任を務めている。毎月の月例会、世話人幹事会、7月に行われる総会のマネージメント運営に関し活動を行っている。			0.10	沖縄消化器内視鏡会の副会長の任を務めている。毎月の月例会、世話人幹事会、2015年7月に行われた総会のマネージメント運営に関し活動を行った。		
管理 運営	0.20	日々の内視鏡業務運営がトラブルがなくスムーズに行えるよう心がけている。具体的には、安全管理対策報告、不定期ではあるが関連診療科(光学、第1内科、第1外科、第2外科)間の協議:光学医療診療部小委員会を1~2カ月に1回開催している。			0.20	2015年4月には内視鏡取扱い講習会の開催、安全管理対策報告の実施、不定期ではあったが関連診療科(光学医療診療部、第1内科、第1外科)間の協議:光学医療診療部小委員会を1~2カ月に1回開催してきた。		
診療	0.25	外来業務を週に2コマ周年行っている。消化器内視鏡業務については特に小腸カプセル内視鏡検査(VCE)、経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を直接自ら行っている。VCEを年間50症例以上、PEGを15症例以上施行を目標とする。			0.25	外来業務を週に2コマ周年行ってきた。消化器内視鏡業務については小腸カプセル内視鏡検査(VCE)、経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を直接自ら行ってきた。VCEを年間40症例、PEGを15症例以上施行してきた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		合志 清隆	所 属		高気圧治療部	職 名		准教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果				
教育・ 学生支援	0.10	高気圧医学の教育(学生:講義教育と臨床教育、医師:臨床教育)		0.10	若て医師の教育が十分ではなく、今後の検討課題である。				
研究	0.10	フィールド調査(沖縄県の職業性ダイバーにおける減圧障害の実態と勤務状態を調べる)		0.20	ほぼ達成できた				
社会貢献	0.10	潜水ないし潜函作業への協力(沖縄県の潜水作業と潜函作業において、大臣審査に必要とされる有識者による作業者の指導、事故時の救急対処、その後の安全教育の実施)		0.10	ほぼ達成できた				
管理運営	0.10	事故防止で職員教育(専門学会の安全対策で決められている高気圧酸素の関する事故防止を毎日実施。院内マニュアルの職員周知)		0.10	ほぼ達成できた				
進路指導	0.10	適正な指導(学生の履修状況の確認、学生が不安に感ずる事項への対処)		0.10	ほぼ達成できた				
診療	0.50	診療実績の向上(年3,000~4,500件の治療実績から、年6,500~6,900件と国内トップの実績になった。診療収入は3~5倍に上昇した。重症患者の受け入れを近隣の救急病院から行っており、専門診療での病院連携を構築している。新治療の推進)		0.40	装置の台風被害で治療件数の大幅減となったが、しかし復旧後には従来の治療状況に復活している。				
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		百名 伸之	所 属	附属病院 骨髄移植センター	職 名	特命准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.20	医学部学生に対し、講義、ポリクリ指導を行う。特にポリクリではチュートリアル方式を採用し、学生自ら問題を見つけ出し、それに自由な発想のもとに全員で回答を創造する形式をとる。教官としては必要な医学的情報を提示し、考える力、論理的思考、斬新な発想を促す役割を担う。研修医には臨床の実践を指導する。		0.20	医学部学生に対し、小児血液腫瘍の系統講義を行った。また、小児貧血についてTBLチュートリアルを、総合講義で小児造血細胞移植を担当した。ポリクリでは各グループで左記の方式の講義を行った。	
研究	0.30	多施設共同臨床研究により小児がんの標準的治療を確立する。独自の臨床試験により難治性疾患、慢性GVHDについて新規治療開発、骨髄内移植法の確立を目指す。基礎研究として移植後の免系再構築の分子学的解析を行う。論文は2編執筆する。		0.30	多施設共同臨床研究に参加し、小児がんの標準的治療確立に寄与した。独自の臨床研究として慢性ITPのリツキシマブ治療、慢性GVHDに対する短波長紫外線照射について学会発表を行った。骨髄内移植法については倫理審査申請中である。基礎研究として移植後の免系再構築の分子学的解析を行っている。英文論文は共著として2編執筆した。	
社会 貢献	0.10	骨髄バンク認定施設として、ボランティアドナーの骨髄採取を行う。また、調整医師として、ドナー候補への骨髄採取説明を行う。社会の啓蒙活動として、一般市民への講演を行う。小児がん経験者の会をサポートする。小児慢性特定疾患審査委員を務める。		0.10	骨髄バンク認定施設として、ボランティアドナーの骨髄採取を10件行った。また、調整医師として、ドナー候補への骨髄採取説明を行った。社会の啓蒙活動として、骨髄バンク講演会で講演、また養護教諭対象の小児がん講演を行った。小児慢性特定疾患審査委員として審査会に出席した。	
管理 運営	0.10	骨髄移植センターの人事を担当する。また、センターの運営、研究に必要な物品購入、適切な予算執行を行う。		0.10	骨髄移植センターの人事を担当した。また、センターの運営、研究に必要な物品購入、適切な予算執行を行った。	
診療	0.30	造血細胞移植を積極的に行い、県内での移植医療の完結を目指す。小児がん一般については、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと共同で診療を行う。さらに、血液専門医、小児血液・がん専門医を育成する。		0.30	造血細胞移植を10件施行し、県外への転院は0件であった。小児がん一般については、沖縄県立南部医療センター・こども医療センターと月例カンファレンスを行い、共同で診療を行った。さらに、1名が血液専門医資格を取得した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		久田 友治	所 属	医学部附属病院 手術部	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.30	【M5】通年で手術部実習:手術時手洗い, 標準予防策(静脈針留置、 針刺し対策を含む), シミュレーターを用いた縫合などの実習を行う。 おきなわシミュレーションセンターも利用する。総合講義。【M4】医療 学総論, 【M3】呼吸器・胸壁・縦隔の講義。【手術部看護師および臨 床工学技士】実務と臨床研究について教育する。【臨床工学技士】委 託された外部の臨床工学科の学生実習を行なう。		0.30	【M5】通年で手術部実習:手術時手洗い, 標準予防策(静脈針留置、針刺し対策 を含む), シミュレーターを用いた胃管挿入などの実習を, おきなわシミュレーション センターも利用して実施した。総合講義。【M4】医療学総論, 【M3】呼吸器・胸壁・縦 隔の講義。【手術部看護師および臨床工学技士】実務の指導と臨床研究について 教育し, 兼城看護師の論文が日本医療機器学会誌に掲載された。【臨床工学技 士】委託された外部の臨床工学科の学生実習を行なった。	
研究	0.30	日本手術医学会の2016年沖縄開催に向けて準備する。論文投稿:「故障と修理から みた手術台の耐用期間の検討」, 「故障と修理からみた高周波手術装置の耐用期間 の検討」, 「手術の稼働に影響を及ぼす職員数の検討」, 感染対策に関する分担執 筆, 手術の時間管理について(共著)。学会報告:「中心静脈カテーテルの安全対策 についての評価」(日本医療機器学会)。「Single Use Deviceとされる医療機器の洗浄 と安全性の評価」(日本手術医学会)。「手術室における注射の安全対策」(医療の質・ 安全学会)。学部横断的に25年12月に組織した琉球大学ラオス研究会を継続する。		0.30	日本手術医学会の2016年沖縄開催に向けて準備を進めている。論文:感染対策に関する分 担執筆の著書と手術の時間管理についての原著(共著)が公表された。「故障と修理からみ た手術台の耐用期間の検討」, 「手術の稼働に影響を及ぼす職員数の検討」については共 著者と調整中である。以下の学会報告を行った:「中心静脈カテーテルの安全対策につい ての評価」(日本医療機器学会)。「Single Use Deviceとされる医療機器の洗浄と安全性の評 価」(日本手術医学会)。「医学生に対するシミュレータを用いた医療安全教育の評価」(医療 の質・安全学会)。学部横断的に25年12月に組織した琉球大学ラオス研究会を継続してい る。	
社会 貢献	0.05	社会保険診療報酬請求審査委員会委員。地域医療振興会の”ゆいまーるプ ロジェクト”(県内離島医療機関の支援)で, 是まで2回代診の実績があり, 今 後も依頼があれば行なう。		0.05	社会保険診療報酬請求審査委員会委員。地域医療振興会の”ゆいまーるプロ ジェクト”(県内離島医療機関の支援)で, 竹富診療所と渡嘉敷診療所の代診を行 なった。	
管理 運営	0.35	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め, 特に効率化を進めて経営改 善を図る。安全管理対策室における分析担当者としての役割を果たす。保 険診療委員会とDPC委員会の委員として病院経営に資する。病院全体のク リニカルパスの推進に携わる。平成27年は全国国立大学附属病院手術部 会議の当番校であり, 3回の幹事会, 11月の本会議の運営を担う。		0.35	手術部管理:安全で円滑な手術部運営に努め, 特に効率化を進めて経営改善を図 った。安全管理対策室における分析担当者としての役割を果たした。保険診療委員会とDPC委員 会の委員として勤めた。平成27年は全国国立大学附属病院手術部会議の当番校であ り, 3回の幹事会, 11月の本会議の運営を担った。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定して ください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		西 啓 亨	所 属	医学部附属病院 手術部	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生、初期臨床研修医、後期研修医に対し、実際の麻酔管理についてエビデンスを示しながら指導する。手技に関するシミュレーション教育・周術期管理に関する教育を積極的に行う。		0.20	ほぼ目標通り達成された。	
研究	0.20	シグナル伝達に関する基礎研究、筋弛緩薬・凝固障害など麻酔関連の臨床研究を計画・実施する。また、学術集会、学術誌等で発表を行う。		0.20	臨床研究は、進行中であり、今後、結果を学術集会、学術誌等で発表を行う予定である。	
社会貢献	0.10	地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。		0.10	ほぼ目標通り達成された。	
管理運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全・迅速に手術室運営を行う。併せて、物品管理も行う。		0.20	ほぼ目標通り達成された。今後も物品の経費削減などに努めていく。	
診療	0.30	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、安全に周術期管理を		0.30	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、安全な周術期管理を実践した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		大城 匡勝	所 属		医学部附属病院 手術部	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	医学部学生・研修医に対し、積極的に実習に参加できるよう、安全に注意を払い丁寧に指導教育を行う。研修医に対し実際の麻酔管理・実習監督を行い、指導教育する。			0.20	医学部学生・研修医に対し、積極的に実習に参加できるよう、安全に注意を払い丁寧に指導教育を行った。研修医に対し実際の麻酔管理・実習監督を行い、指導教育した。		
研究	0.20	麻酔および医療安全関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する			0.20	麻酔および医療安全関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行った。症例報告、原著論文を作成した		
社会貢献	0.10	地域関連施設に週一回出向し、関連施設の医師および看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援および技術の還元を行う。			0.10	地域関連施設に週一回出向し、関連施設の医師および看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援および技術の還元を行った。		
管理運営	0.10	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行う。			0.10	手術室の効率的運営を行えるように、看護師、医師と協力し、手術室稼働の調整を行い、安全かつ迅速に運営を行った。		
診療	0.40	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。			0.40	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献した。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		野口 信弘	所 属		医学部附属病院 麻酔科(手術部)	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。ポリクリ実習学生に対し、当科の役割や面白さを伝え実習指導を行なう。学生および研修医に対し、今後の進路に関する情報を与え指導を行う。			0.20	ポリクリ実習、臨床研修に際しては、実際に参加させ実習、研修に興味を持たせるように行った。またM4への医療安全に関する講義をスライド作成に工夫を行い興味を持てる様に行った。		
研究	0.20	臨床研究および基礎研究を通して、医学・医療の発展に貢献できる結果を学会および論文として公表する。			0.20	臨床研究の成果を学会で発表し、学術誌への投稿も行った。		
社会 貢献	0.10	地域の関連施設に週1回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。			0.10	地域の関連施設での麻酔指導及び教育を行った。		
管理 運営	0.20	手術室の効率的運営を行えるように、手術室看護師、外科系医師と協力し、手術室稼働の調整を行う。また総医局長として医局長会議のとりまとめを行い、ゼネラルリスクマネージャーとして医療安全に関する各種会議等に参加し医療安全に貢献する。			0.20	週間手術予定の作成を行い手術室看護師や外科系医師との調整を行い効率的な手術室運営を行うことができた。ゼネラルリスクマネージャーとして医療安全に関する各種会議等に参加し医療安全に貢献した。		
診療	0.30	附属病院手術室において、麻酔業務に専従し、手術数増加のために貢献する。手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。			0.30	手術室の効率的運営により、昨年より手術数の増加を図ることができた。また、安全に手術麻酔を施行し、大きな問題なく施行できた。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		正本 仁	所 属	医学部 附属病院 周産母子センター	職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	近年の周産期・生殖医学の学術的・技術的発展、医療的倫理を反映した講義を行う(例:出生前診断、胎児治療、他診療科と連携した周産期管理等における新しい知識、技術、考え方の紹介)。		0.20	左記の項目に関する講義の中で、臨床例を示して知識を啓発し、その分野の学術的発展と今後の課題・問題点についても提示した。それらに関する医療倫理的問題についても提示、討論した。他科と連携した診断・治療例を提示した。	
研究	0.20	英文学術論文を1編以上作成し、学術雑誌への採用を目指す。当科で経験した前置癒着胎盤例への骨盤動脈balloon留置術や精神疾患合併妊娠の管理、前置癒着胎盤の画像診断に関する研究、臨床的検討について学会、ワークショップなどで対外的に発信する。比較的立ち遅れている周産期関係の臨床研究を発展させる。		0.20	国内ではまだ症例数の少ない前置癒着胎盤例への骨盤動脈balloon留置術の治療効果について全国学会ワークショップで発表し支持的意見を得た。Corresponding authorとして英文論文を作成、現在in press。周産期関係の臨床研究1題が進行中。	
社会貢献	0.10	研究、診療、学会活動を通じて得た医学的知識、経験を公開講座などを通して広く提供し、県民の健康向上に貢献する。		0.10	沖縄産婦人科学会雑誌のreviewerとして他施設医師の論文査読を通し医学知識の啓発をはかった。宮古島市における市民公開講座で妊娠中の子宮内環境について講演した。	
管理運営	0.20	医師キャリア支援センターの副センター長に就任しており、充実した研修プログラムの作成、運営にあたる。地域周産期センターである当周産母子センターの部長として、臨床研究および診療の充足に努める。		0.20	医師キャリア支援センター副センター長として、県内の指導医講習会を主催した。周産母子センターセンター長として診療体制の充足に努めた。周産母子センターの年間実績についてまとめ、周産期新生児学会へ報告した。	
診療	0.30	周産母子センターにおける合併症妊娠例に関し、他科と連携した産科治療を充足させる。		0.30	当周産母子センターの総分娩数、出生児数、母体搬送受入数は創立以来2番目の多さとなった。合併症妊娠の症例数は昨年と同等。特に精神疾患合併妊娠例、妊娠糖尿病例が昨年同様に多く、精神科や内科と連携した治療を多く経験した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田朝秀	所 属		医学部附属病院周産母子センター	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.20	学部担当科目(未熟児新生児)を担当し、系統講義、クリニカルクラークシップ医学生に対してベッドサイドティーチング等を行う。初期研修、後期研修医のへの研修指導、シミュレーション教育を行なう。			0.20	系統講義、クリクラ学生に対してベッドサイドティーチング等を行った。初期研修、後期研修医のへの研修指導を行った。研修医対象のシミュレーション教育の講師を務めた。研修医、学生の小児医療、周産期医療への関心喚起のため説明会を開催した。新しい専門医制度の小児科学会としての啓蒙やプログラム作成に従事した。		
研究	0.20	新生児医療に関する学会活動、研究論文の投稿を行う。スタッフの学会参加や研究発表を支援する。			0.20	九州小児科学会に研究内容を発表した。周産期新生児学会、沖縄小児科学会、沖縄新生児研究会等へ参加し、研修医の学会発表を支援した。		
社会 貢献	0.10	南部地区周産期ネットワーク活動を通して地域の周産期医療の充実に貢献する。継続して新生児蘇生法のインストラクターとして普及活動に従事する。小児保健協会等の公益に関わる団体の理事として活動する。			0.10	沖縄県周産期ネットワーク協議会委員として『周産期情報共有システム』を運用させている。新生児蘇生法インストラクターとして活動した。小児保健協会、医師会学校医部会、小児科医会の理事として活動した。		
管理 運営	0.10	医局長会議、周産母子センター運営委員会、その他の会議に参加する。			0.20	集中治療部、周産母子センター、輸血療法委員会、保険診療委員会、脳死判定委員会WG、虐待対応委員WG、交通対策委員会など病院運営等に関わる会議に参加した。		
診療	0.40	附属病院での診療を通して健康維持に貢献し未熟児医療の改善を目指す。市中病院、乳児健診を通して情報の収集と診療技術の向上をめざす。			0.30	周産母子センターで未熟児新生児医療に従事した。市中での救急診療、乳児健診に従事した。予防接種施行などに際してアドバイス、講義を行うなど貢献した。		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 			1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		銘苺 桂子	所 属		医学部附属病院周産母子センター	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.20	1. 講義/チュートリアルの充実(学生自身が考えて理解するスタイルへ) 2. 県医師会女性医師部会と合同で医学生に向けてキャリアプラン講義を行う 3. 生殖医療専門医の育成 4. 腹腔鏡技術認定医の育成 5. 研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導 6. 胚培養士の育成		0.20	1. 講義/チュートリアル of 充実(学生自身が考えて理解するスタイルへ) 2. 県医師会女性医師部会と合同で医学生に向けてキャリアプラン講義を行う 3. 生殖医療専門医の育成 4. 腹腔鏡技術認定医の育成 5. 研修医、後輩医師の教育、学会発表の指導 6. 胚培養士の育成			
研究	0.25	1. 科学研究費補助金による研究の実施 2. 学会誌への投稿、発表 3. 学会での発表 4. 市販後臨床試験の実施		0.25	1. 科学研究費補助金による研究の実施 2. 学会誌への投稿、発表 3. 国内・国際学会での発表			
社会 貢献	0.05	1. 沖縄県主催の各種会議(こども・子育て会議等)へ委員としての参画 2. 県医師会女性医師部会委員としての活動 3. 学外での産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動 4. 日本産科婦人科内視鏡学会、日本生殖医学会での評議員としての参画		0.05	1. 沖縄県主催の各種会議(こども・子育て会議等)へ委員としての参画 2. 県医師会女性医師部会委員としての活動 3. 学外での産婦人科疾患の啓蒙(啓発)活動 4. 日本産科婦人科内視鏡学会、日本生殖医学会での評議員、日本産婦人科学会女性活躍のための健康推進委員会としての参画			
管理 運営	0.05	1. 学部内委員会出席 2. 体外受精・胚移植施行施設管理 3. 副医局長としての活動		0.05	1. 学部内委員会出席 2. 体外受精・胚移植施行施設管理 3. 副医局長としての活動			
診療	0.45	1. 安全に十分配慮した医療 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療 3. 生殖・内分泌治療成績の向上 4. 腹腔鏡下手術件数の増加 5. 腹腔鏡手術適応症例の拡大(悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術を安全に行う)		0.45	1. 安全に十分配慮した医療 2. 患者さんへの説明と同意を十分に得て行う医療 3. 生殖・内分泌治療成績の向上 4. 腹腔鏡下手術件数の増加 5. 腹腔鏡手術適応症例の拡大(悪性腫瘍に対する腹腔鏡手術を安全に行う)			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		呉屋英樹	所 属		医学部 小児科	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生支援	0.20	医学部での講義、学生実習での指導など		0.20	予定通り講義、実習を行えた			
研究	0.20	臨床研究やそれに基づいた論文発表、学会発表など		0.10	学会発表は行ったが、論文は書けなかった			
社会貢献	0.10	具体的な案はまだなし		0.10	新生児蘇生の講習会などに講師として参加した			
管理運営	0.10	小児科の外来医長、病棟のリスクマネージャー、感染対策委員会など		0.20	外来医長、リスクマネージャーなどの業務をこなした			
診療	0.40	日常の病棟や外来業務		0.40	日常診療は通常通り行えた			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平敷 千晶	所 属	産婦人科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生支援	0.20	3年次学生を対象とした産婦人科系統講義日程を調整する。個人としては、生殖内分泌、不妊精査、治療に関する講義を行う。臨床実習においては5年次、6年次学生の指導を行う。		0.20	臨床実習において、生殖内分泌、不妊精査および治療に関する指導を行った。	
研究	0.35	低刺激採卵の治療成績、帝王切開瘢痕部妊娠の治療に関する研究を行い学会にて発表し論文とする。		0.35	日本産婦人科学会において低刺激採卵の治療成績に関して発表した。帝王切開瘢痕部妊娠の治療に関して論文を作成した。	
社会貢献	0.05	沖縄県医師会女性医師部会のフォーラムに参加し、ワークライフバランスについて検討する。		0.05	沖縄県医師会女性医師部会のフォーラムに出席した。	
診療	0.40	一般不妊治療、高度生殖医療、産婦人科内視鏡手術に従事する。		0.40	一般不妊治療、高度生殖医療、産婦人科内視鏡手術に従事した。	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		瀧上 竜也	所 属		医学部附属病院集中治療部	職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生 支援	0.25	学生・研修医・看護職員にたいし院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行う。人工呼吸や持続透析など生命維持装置を含む医療安全の啓蒙をおこなう。麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師に対し最適な進路選択ができるように教室のもつ研修関連施設にとどまらない情報提供を行う。			0.25	学生・研修医・看護職員を含めて、院内最重症例を収容するICUスタッフを指導・養成するために呼吸・循環・代謝といった重要臓器の臓器障害の診療に関する知識・技術の教育を行った。人工呼吸や持続透析など生命維持装置を含む医療安全の啓蒙をおこなった。麻酔・集中治療領域の専門家を目指す学生、研修医、看護師や臨床工学技士に対し最適な進路選択ができるように教室のもつ研修関連施設にとどまらない情報提供を行った。		
研究	0.15	基礎研究(遅発性脊髄障害とDセリン～ノックアウトマウスを用いた研究～)だけでなく、当院集中治療部におけるPMX-DHPの敗血症治療への有効性に関する研究や新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた心臓大血管手術後の呼吸管理に関する研究を継続し当該学会での発表や論文作成を行う。			0.15	基礎研究(遅発性脊髄障害とDセリン～ノックアウトマウスを用いた研究～)だけでなく、当院集中治療部における新しい人工呼吸モード(適応補助換気)を用いた心臓大血管手術後の呼吸管理に関する研究を継続し日本麻酔科学会や日本臨床麻酔学会で発表し、総説の分担執筆、論文作成を行った。		
社会 貢献	0.20	県下の麻酔科医不足の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を内外の医療従事者に講演する。			0.20	県下の麻酔科医不足の医療機関への派遣によって、安全な術中管理に貢献する。大学内での診療経験や研究から得られた知見を県内で行われた医療者向けセミナーを通して院内外の医療従事者に紹介した。		
管理 運営	0.10	部署リスクマネージャー(ICU)、医療機器安全管理委員会、輸血療法委員会等院内各種委員会の活動に貢献する。			0.10	部署リスクマネージャー(ICU)、医療機器安全管理委員会、輸血療法委員会等院内各種委員会の活動に貢献した。ME機器センター副センター長も兼任した。		
診療	0.30	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献する。県内唯一の大学病院の集中治療室として補助人工心臓植込みの周術期管理など先進・高度で専門性の高い診療を行う。			0.30	院内の手術麻酔、集中治療に従事し安全な周術期管理に貢献した。県内唯一の大学病院の集中治療室として補助人工心臓植込みやTAVIの周術期管理など先進・高度で専門性の高い診療をサポートした。特定集中治療加算に見合う診療体制を構築し、実践した。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前	武村 克哉		所 属	医学部附属病院地域医療部		職 名	講師	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果			
教育・ 学生 支援	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義の計画・実施 ・医学科4年次医療面接実習の計画・実施 ・医学科4-5年次地域医療臨床実習の計画・実施 ・模擬患者参加型医療面接セミナーの開催 ・研修医に対するプライマリ・ケア教育の実施 ・臨床研修指導医に対する講習の計画・実施 ・地域医療に関心のある学生の支援 		0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・卒前地域医療／プライマリ・ケア教育に関する講義(医学科3年次地域医療/プライマリ・ケア講義12コマ、医学科4年次地域医療/プライマリ・ケア講義4コマ)の計画・実施、医学科4年次医療面接実習の計画・実施(12月)、模擬患者参加型医療面接セミナーの開催(4月)、通年の医学科4-5年次地域医療臨床実習の計画・実施、総合診療センター外来での学生教育、研修医に対するシミュレーショントレーニングの開発・実施(4月、9月)、臨床研修指導医養成セミナー(11月)での講習を実施した。 			
研究	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療教育・研修に関する研究、学会誌への投稿 ・臨床研修指導医養成講習の評価に関する研究、学会誌への投稿 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床研修指導医養成講習の評価に関する論文を学会誌に投稿、採択された(琉球大学における臨床研修指導医養成セミナーの評価, 医学教育, Vol.46(6), 475-481, 2015)。 			
社会 貢献	0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループへの参画 ・沖縄プライマリ・ケア研究会への参画(幹事担当) ・九州地域医療研究会への参画(世話人担当) 		0.10	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県委託事業「健康行動実践モデル事業」ワーキンググループ員を担当した。 ・沖縄プライマリ・ケア研究会の幹事を担当した。 			
管理 運営	0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学医学部附属病院医師キャリア支援センター員、初期臨床研修先島プログラム「美ぎ島」責任者として、研修プログラム・地域保健医療研修を調整する。 ・総合診療センター運営協議会委員、沖縄プライマリ・ケア専門研修コースプログラム責任者として、総合診療専門研修プログラム作成に取り組む。 ・琉球大学医学部医学教育企画室員として、離島地域病院実習、地域医療を学ぶための学生セミナーに対する支援を行う。 ・琉球大学医学部医学科教育連絡主任として地域医療臨床実習の連絡調整を行う。 ・共用試験医学系OSCE「医療面接」担当として、運営に協力する。 ・リスクマネジャー連絡会議委員として、会議への出席、リスク管理を行う。 ・ハワイ-沖縄医学教育フェロースシップ実行委員として、管理運営調整を行う。 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学医学部附属病院医師キャリア支援センター員、初期臨床研修先島プログラム「美ぎ島」責任者、地域医療研修担当者として、定例会議に参加し、「美ぎ島」プログラムの調整、地域医療研修の調整を行なった。指導医養成セミナーにてタスクフォースを担当した。日本プライマリ・ケア連合学会認定後期プログラム認定「沖縄プライマリ・ケア専門研修コース」プログラム責任者を担当し、九州支部のサイトビジットを行った(1月)。琉球大学医学部医学教育企画室員として、「地域医療を学ぶためのPBL」(10~12月)の企画・実施、離島地域病院実習(6~7月)にて久米島病院実習担当、地域医療を学ぶための学生セミナー(3月)にて南部班を担当した。琉球大学医学部医学科教育連絡主任、総合診療センター運営協議会委員、リスクマネジャー連絡会議委員、琉球大学医学部附属病院クリニカル・シミュレーションセンター事業推進委員会委員として会議に参加した。共用試験医学系OSCE「医療面接」ステーション副責任者を担当し、医療面接実習のための模擬患者を育成した。ハワイ-沖縄医学教育フェロースシップ実行委員として、同プログラムの実施調整を行った。 			
診療	0.20	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療センターにおける外来診療、禁煙外来(週2回) ・救急部診療応援(月1回) ・公立久米島病院への定期的な診療応援(月2回) 		0.30	<ul style="list-style-type: none"> ・総合診療センター外来における外来診療、禁煙外来(週2回)を行った。 ・救急部診療応援(月1回)を継続した。 ・公立久米島病院への定期的な診療応援(月2回)を継続した。 			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 		1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 			
<p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p>				<p><input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。</p>				

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		青山 肇	所 属		医学部附属病院病理部
			職 名		特命助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育・ 学生 支援	0.30	1.臨床実習における学生の指導を行う。その際、個々の症例の捉え方を的確かつ丁寧に指導できるように知識の充実を図る。 2.病理部に研修に来る初期研修医の指導を行う。その際に組織の顕微鏡的観察だけではなく、肉眼診断の重要性、臨床情報の理解が重要であることを認識させる。 3.医学生および初期研修医に対して、進路決定の参考となるよう病理学・病理診断の実際についての情報を提供する。		0.30	1. 達成 2. 達成 3. 達成
研究	0.25	1.外科病理組織を用いた病理学的な研究を確立し、学会発表や論文作成を目指す。 2.後期研修医や初期研修医の学会報告の指導を行う。3.科学研究費補助金の獲得を目指す。		0.25	1. 未達 2. 達成 3. 未達
社会 貢献	0.15	離島を含む県内各病院の病理診断・病理解剖に従事する。		0.15	達成
管理 運営	0.05	病理部内の業務が円滑に進むよう、様々な管理業務やミーティングを行う。		0.05	達成
診療	0.25	1.大学病院における病理診断業務を行う。 2.臨床各科とのカンファレンスに積極的に参加する。		0.25	1.達成 2.達成
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		平安名常一	所 属	医学部放射線科	職 名	講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果	
教育・ 学生 支援	0.25	①放射線治療、及び、IVRの適応を理解させる。②放射線治療、及び、IVRの基礎、応用を指導する。③学生が放射線治療、IVRに参加(見学)希望する場合には可能な限り参加型教育として支援する。		0.25	①、②、③のいずれの項目も全て達積できた。	
研究	0.30	①頭頸部を含めた悪性腫瘍に対する動注化学放射線療法症例を蓄積し、短期・中期成績を報告する ②治療後再発症例に対する緩和的治療の症例を蓄積し、その有効性・安全性の短期・中期成績を報告する。		0.30	①、②のいずれの項目も全て達積できた。学会での報告が主体であるが、来年度は論文文化を行う予定である。	
社会 貢献	0.05	放射線治療、及び、IVRによる根治治療のみでなく、それらを用いた緩和治療の情報を講演などにて伝えていく。		0.05	市民講座、県民講座にて講演を行う事で一般市民への周知が達成できた。	
管理 運営	0.10	放射線部の運営のみでなく、FIMACにおけるPET運営にも協力して一日でも軌道に乗せる事を目指す。		0.10	昨年度よりは十分業績を上げる事を達積できた。	
診療	0.30	外来診察を円滑に行い、放射線部での収益をより高める方向で検討		0.30	外来診察を円滑に行う事ができ、放射線部での収益を高める事を達成できた。	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	小宮 一郎		所 属	医学部附属病院 地域医療システム学講座	
職 名	教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果
教育	0.35	①教務委員会委員として委員会活動に積極的に参加する。医学教育カリキュラムの改編作業を支援し、臨床医学及び臨床実習の改革を継続する。②教務委員会医委員並びに教育企画室室員として地域枠学生の指導・教育に携わる。③琉球大学URGCCの医学科委員として琉球大学の教育全般の向上に寄与する。④医学科の国家試験対策並びに総合試験問題の作成と全問ブラッシュアップに関わる。⑤平成25年度から開始された4年次TBLチュートリアル教育を引き続き担当し、その充実と拡大に努める。⑥医学教育国際認証対策にアドバイザーとして参加する。⑦医師キャリアセンターの副センター長として、センター運営の中核を担う。琉球大学附属病院初期研修のアドバイスや進路相談などに関わるとともに、沖縄県の初期臨床研修の充実に向け、「オール沖縄」での取り組みをバックアップする。		0.35	①教務委員会委員として委員会活動に積極的に参加した。医学教育カリキュラムの改編作業の中心として、臨床医学及び臨床実習の改革を継続した。②教務委員会医委員並びに教育企画室室員として地域枠学生の指導・教育に携わった。③琉球大学URGCCの医学科委員として琉球大学の教育全般の向上に寄与した。④学内の全ての総合試験問題((I及びII・III)のブラッシュアップに参加した。⑤1年次の早期臨床体験や臨床実習に関わった。さらに4年次TBLチュートリアル教育の充実と拡大に努め、年間60コマの授業として確立した。⑥しかし医学教育国際認証に向けた作業には参加できなかった。
研究	0.20	①沖縄県の地域医療の在り方や地域包括支援体制などを研究する。②新たな医学教育の在り方を研究し、その結果を医学教育学会等の学会にて学術論文などで報告する。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の予後改善を目指した臨床研究を行う。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行う。⑤尿酸排泄と糖尿病との関連性を研究する。		0.20	①沖縄県の地域医療の在り方を研究した。②新たな医学教育の在り方を研究し、その結果を医学教育学会等の学会にて学術論文などで報告した。③糖尿病の診療を通じて、沖縄の糖尿病患者の栄養素摂取の在り方を研究して論文発表を行った。④脂質代謝異常と癌の疫学的研究を行い、癌の早期発見に関連する研究を行った。⑤尿酸排泄と糖尿病との関連性を研究し、論文として投稿中である。
社会貢献	0.15	①沖縄県の地域医療再生計画に参画する。②県内の市町村の健康教室の講師を務め、県民の健康増進に貢献する。③看護協会などの県内医療関連組織への医学講演を通じて沖縄の医学向上に貢献する。④CBT・OSCEの外部評価者として、我が国の医学部CBT・OSCE運営の改善に寄与する。⑤市民公開講座などを開講し、沖縄の地域医療に関する情報を発信する。		0.15	①沖縄県の地域医療再生計画に参画した。②企業の健康講座の講師を務め、県民の健康増進に貢献した。③看護協会などの県内医療関連組織への医学講演を通じて沖縄の医学向上に貢献した。④平成27年9月25日にタイムスホールにて「医療・介護・福祉」に関する市民公開講座などを開講し、300名以上の参加者があり、沖縄の地域医療に関する情報を発信した。
管理運営	0.15	①沖縄県寄附講座の教授、教務委員会委員、医師キャリア支援センターの副センター長、沖縄シミュレーションセンターのコアメンバーとして活動に積極的に参加し、さらに講座の奥村准教授の医師キャリアセンターでの業務やその他の業務(県民の健康調査など)をバックアップする。		0.20	①沖縄県寄附講座の教授、教務委員会委員、沖縄シミュレーションセンターのコアメンバーとして活動に積極的に参加した。地域医療部と共同で新たな院内勉強会「地域医療・地域包括ケアを学ぶ会」を創設し、月に1回の割合で開催した。学内外の20-30名が毎回参加し、地域連携の足掛かりとなった。②講座の奥村准教授の医師キャリアセンターでの業務、新専門医に関する業務、内科学会救急医療(JMECC)の講習会運営などの業務をバックアップした。
進路指導	0.15	①医師国家試験への医学部学生の合格率向上に努力する。成績下位の者に対する面接や集団指導を行い、国試の合格率を上げる努力を行うとともに、現状の分析結果を行う。②既卒の国試浪人を対象とした個人指導を行う。		0.10	①医学部学生の合格率向上に努力した。、国試の合格率を上げる努力を行うとともに、現状の分析結果を平成27年7月にいがたで開催された医学教育学会に発表した。②しかし、既卒の国試浪人を対象とした個人指導は希望者がおらずできなかった。
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成28年5月以降に学内外へ公表されます。

平成27年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		恒吉 章治	所 属		腎臓病総合治療学講座	職 名		助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成27年度 年度目標設定			業務 ウェイト比 (実績)	平成27年度 年度末自己点検結果		
教育・ 学生支援	0.20	腹膜透析に従事する医師、看護師の拡充を図り、指導を行う。 医師の、血液透析・腹膜透析・腎代替療法に対する診療の教育を行う。			0.20	腹膜透析に従事する医師、看護師の指導を行った。 医師の、血液透析・腹膜透析・腎代替療法に対する診療の教育を行った。		
研究	0.10	「尿酸と肥満、糖尿病の関連」に関する研究 「腹膜透析における二期的導入法の検討」に関する研究			0.10	「腹膜透析における二期的導入法の検討」で日本腹膜透析学会総会で発表した。 「腹膜透析におけるカテーテル外面付着物による接合不良」についての研究を進めている。		
社会 貢献	0.20	研究会、他施設での講演会を通じて、とくに腹膜透析における地域医療の充実を図る。			0.20	研究会、他施設での講演会を通じて、腎代替療法、腹膜透析における地域医療・地域連携の拡充を図った。		
管理 運営	0.20	血液浄化療法部の安全な運営、効率の向上、職種間連携を図る。			0.20	腎代替療法、血液浄化療法部の安全な運営、効率の向上、職種間連携を図った。 腹膜透析の、病棟・外来合同チームを企画し、新年度から活動開始予定である。		
診療	0.30	腎代替療法選択外来、PD外来を専任で管理し、他部署との連携を図る。			0.30	腎代替療法選択外来の管理を行った。受診者数は、前年度から約倍となった。 腹膜透析通院患者が20人を超え、県内トップレベルの管理となった。質の向上を図るべく、上記のようにチーム医療にも力を注いでいる。		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。			1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。					<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			